

平成16年県内小・中・高・特殊諸学校 校内研究主題

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
国立	独立大学法人山梨大学教育人間科学部附属小	ひびき合い学びをひろげる子どもたち	自ら基礎・基本を価値づけ、学びを実感する子どもの育成(二年次)	学びの意味づけが子ども達の中に育ったとき子ども達は「学んでよかった」という実感とともに、これからの学習に対する「見通し」や「してみたいこと」を思い描くことができるようになるだろうと考える。評価と指導の運動の中で、「学びの意味づけ」がより可能なカリキュラムの構成や単元の配列を教師の側が子どもの認知ということを中心にコーディネートすることで、「思考判断の力」(本校で考える基礎・基本の力)を身につけて子ども達が育つだろうと考え研究を進めていく。	
甲府市	相生小	たくましい心で体で生き生きと活動する児童の育成	人に学び、共に感じ合うふれあいや交流を通して	開かれた学校づくりを目指すために、地域ふれあい教育を基本として、様々な人とのふれあいを図りながら児童の心情の育成を図っていく。	地域ふれあい道徳教育推進校
甲府市	千塚小	自ら学び、創造的に活動する子どもの育成		児童の実態を考えると、自分の考えを発表するような場面では、積極性に欠けてしまう傾向がある。総合的な学習の時間においても、調べていく段階ではがんばるのだが、最後にまとめて発表していく段階で思ったとおりにならないということも見られた。このことから考えて、伝え合う力を育てることが必要であると考えた。国語科を中心として理論研究と実践研究に取り組む。	
甲府市	千代田小	いのちを見つめ、たくましく生きる千代田の子の育成	教育課程における効果的な評価の在り方	各教科において、昨年度までに作成した評価規準・基準表を活用した効果的な評価方法を研究して、指導と評価の一体化を工夫するとともに、研究授業を行い、全職員で評価についての研究を深める。	
甲府市	池田小	心をたがやす国語力向上に関する研究	自ら本を手に取り、自己表現できる子どもの育成	文化審議会答申「これからの時代に求められる国語力について」を見ると、国語力の中核をなす力として「感じる力、考える力、想像する力、表す力」をあげている。このうち「感じる力、考える力、想像する力」を読書の習慣化により養う。残りの「表す力」を養うために、自己表現の場を設定する。情報活用のループを形作ることににより国語力向上を図る。	(県)心を耕す国語力向上事業公開なし
甲府市	大里小	特別な教育支援を必要としている子どもたちへの支援の在り方	支援の積み重ねを大切にしたい体制づくりを通して	「特殊教育」から「特別支援教育」への転換を図ることがこれからの方向として示された。本校としても、モデル事業の協力校として、特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズや課題を的確に把握し効果的な支援を行うための校内体制の在り方、支援の方法(指導方法や内容)について考えていくこととした。	特別支援教育推進体制モデル事業研究協力校
甲府市	穴切小	自ら学び豊かな心でたくましく生きる子どもの育成	放課後学習チューター配置等に係る調査研究(二年次)	研究の二年次である本年度は、昨年度に引き続き、算数科の計算技能領域での放課後学習支援を設定し、プレテストやポストテストなどと比較しながら、その効果について実証的に検証したい。	文部科学省、山梨県
甲府市	大國小	「伝え合う力」を育てる学習指導に関する研究	「書くこと」を中心とした、国語力の育成	国語科の「書くこと」の領域において、対自意識、相手意識など6つの意識に着目しながら、論理的思考力や情緒力を高めるための指導法を工夫・改善していく。	
甲府市	富士川小	「確かな学力を育む学習指導法の研究」	国語科における基礎・基本の定着を図る指導と評価のあり方	国語科における児童の実態(国語力)を把握し、研究対象となる領域を焦点化する。その領域における基礎・基本を洗い出し、その定着を図るための継続的な学習の実施と併せて研究授業により指導と一体化した評価の研究を行っていく。	
甲府市	湯田小	生きる力を育てる教科の授業	～理科をとおして～	(1)授業実践 基礎学力向上やまなしプラン教育課程研究委員会から提案された理科内容について検討し、各学年で提案内容を含む単元の実践をする。(2)授業研究 学年(3～6年)で一つ「子供たちが輝くとき」で提案された内容の授業研究を行う。(3)目標、計画、実践の研究結果をふまえ、「子供たちが輝くとき」で提案された内容を含めた年間指導計画を作成する。(4)実践事例集(平成16年度研究紀要)の作成	(県)基礎学力向上やまなしプラン
甲府市	春日小	豊かな心をもちたくましく生きる子どもの育成	自己表現力・コミュニケーション能力を伸ばすための工夫と実践	昨年度は、総合的な学習の時間や生活科の時間を中心に地域と連携した学習を行ってきた。その中で、自己表現力・コミュニケーション能力に焦点を当て授業実践を行ってきた。今年度は、統合を見据える中で、教科学習や特別活動においても自己表現力・コミュニケーション能力を伸ばせるように工夫した実践を行うことを通して、豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成をめざしていく。	
甲府市	琢美小	豊かに表現できる子どもの育成	国語力の向上を目指して	国語科の学習において、「話す、聞く」の活動を設定し児童の話す力、聞く力、話し合う力を高めるような支援を探っていく。児童実態調査、指導内容系統表、評価規準の作成、自己評価、相互評価カードの作成を行う。また、「話す、聞く」を育む日々の実践(スピーチ、読み聞かせ、音読、短文日記など)を行う。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
甲府市	国母小	広い視野をもって自ら学びをひらく子どもの育成	基礎基本の充実と新たな課題への取りくみを通して	学校教育目標を受け、確かな学力と時代を展望していく力を身につけさせたいと考え研究内容を定めた。確かな学力向上部会として国語力向上・きめ細かな学習・繰り返し学習の3部会を設定した。朝読書・朗読・計算や漢字の繰り返し学習・習熟度別学習等を実態調査や評価を行いながら実践していく。環境教育・科学教育・英会話部会では、外部講師を招いたり、地域との連携を深めながら双方向の発信を行い、実践研究を進めていく。	
甲府市	東小	世界に目を向け、未来を拓く子どもの育成	一英語活動の実践を通して	平成16・17年度県教委『レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業』の推進校指定を受け、教育課程の中に国際理解教育の一環としての英語活動を取り入れ、日常の挨拶などコミュニケーション活動を積極的に体験させるあり方を探る。「世界に目を向け、未来を拓く子どもの育成ー英語活動の実践を通してー」の主題のもと、検証場面として、ネイティブスピーカーの英語に親しむ授業や、英語圏の国との作品交流活動などを考えている。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業公開予定なし
甲府市	石田小	「確かな学力」を身につけさせるための指導方法を探る	共に学び、高めあう教科学習の実践を通して	(1)児童・地域の実態を把握し、実態に即した研究を進めるとともに、研究推進による児童の変容を検証する。・児童及び保護者アンケートの実施、集計、分析(2)「基礎」「基本」「確かな学力」についての、定義づけをする。・研究推進委員会・全体会・講師の招聘(3)「確かな学力」を身につけさせるための教科教育についての研究を深め、共通理解を図る。・備品、消耗品・国語科部会での実践報告(4)授業研究を通して、「確かな学力」を身につけさせるための活動、教材開発などを行う。・国語科部会(5)学習の習慣化のための方策を検討しながら、児童に主体的な学習習慣の定着を図る。・日常活動部会での研究(6)地域や保護者の協力を得るために、学校の教育活動について積極的に情報発信する。・ホームページによる情報提供、学校情報新聞などの発行(7)子どもたち一人一人の変容を目指し、指導と一体化した評価、個に応じた評価の研究をする。・評価部会	
甲府市	甲運小	かかわる、みがく、未来を拓く	伝え合う力を育てる国語科の研究(仮)	総合的な学習の時間の実践を行う中で、表現する力にまだ発展の余地があると考えた。そこで今一度国語科に立ち返り、伝え合う力を育てたいと考えた。	
甲府市	伊勢小	「豊かな心と体を育み、自ら実践できる子どもの育成」	～学校・家庭・地域と連携した食に関する指導を通して～	学校における食に関する指導の推進に関する研究。(給食指導や栄養バランス等だけでなく、生産活動等も含む広い指導)正しい食事や望ましい食習慣の形成について、学校から保護者や地域の方々に対しての啓発や情報の発信などどんなことができるか研究し、活動していくこと。保護者や地域の方々の協力を得て行う食に関する体験活動や食に関する講演などの地域全体で行う食に関する指導の充実を図る活動を研究していくこと。	学校を中心とした食育推進事業(国)
甲府市	相川小	自ら気づき考え生き生きと活動する子どもの育成	算数科におけるきめ細かな指導のあり方	算数科において、一人一人の子どものよい点や可能性、進歩やつまずきの状況を把握し、それに応じたきめ細かな指導のあり方について具体的な手だてを研究する。また、きめ細かな指導をするための評価規準・基準について学習する。	放課後学習チューターにかかる調査研究事業
甲府市	朝日小	楽しく生き生きと学びあう子どもの育成	「確かな学力」の向上を目指した豊かな実践	子どもたち自身の「学ぼうとする意欲」が学びの原動力であることに着目し「確かな学力」の向上を目指して、算数科でのティーチングや少人数指導などのきめ細かな指導による授業改善、教師の専門性や得意分野を生かした教科指導の充実を図るために高学年を中心に算数科、社会科、理科の3教科を他学年にまたがった一人の教師が系統的に指導する教科担当制の試行による内容理解を深めるための発展的な教材の開発に取り組む。	(国)(県)学力向上フロンティア事業11月2日
甲府市	新紺屋小	たくましく創造性豊かな子どもの育成	個に応じた算数科の指導を通して	算数科における個に応じた指導方法(TTを中心に)について、授業実践を行う中で検討し、望ましいあり方について研究する。合わせて放課後学習チューターとの関連性を探る。	(県)放課後学習チューター配置等に関する調査研究
甲府市	貢川小	豊かに学びを創る貢川の子どもの育成	コミュニケーション能力を育てる英語活動を通して	小学校における英語活動の実践について、先進的な取り組みを通して教育課程の試案を作成することを研究のねらいとする。各学年のカリキュラム編成、指導内容、指導方法、評価等について具体的な実践から研究を進めていく。	レッツチャレンジ英語活動事業指定校
甲府市	玉諸小	豊かな心を持ち、生き生きと表現できる子どもの育成	国語科の書くことと読書活動を通して	国語科において、書くことに関して身につけさせたい力を明確にし、6年間を見通した、系統的で段階をおった指導家庭を考え、書き方を指導することにより、生き生きと表現できる子どもを育成すると共に、豊かな心を育むひとつの手だてとして読書活動を推進する。	甲府の子ども
甲府市	新田小	心身共に健康で生き生きと活動する児童の育成	めあてを持って取り組み、心と体を育む健康づくりの実践を通して	生きる力の基盤であるといえる健康や体力に視点を置き、全教育活動の中で健康教育を切り口として、研究を進め、児童一人ひとりが自分の健康、体力に関心をもち、進んでより健康な生活を実践しようとする意識を高めることができるようにしていきたい。健康づくり教育(保健、体育、総合、特別活動)において、児童一人ひとりの課題を明確にさせ、地域・家庭と連携しながら、実態に応じた指導の工夫を行い、研究を進めていきたい。	甲府市教育委員会・学校保健会指定、山梨県小中学校体育連盟指定
甲府市	北新小	生きる力を育てる教育活動の創造	児童一人ひとりの思いを生かした生活科・総合的な学習を通して	本校の実態(地域や子どもの実態等を含む)に沿った「生活科」「総合的な学習の時間」の実践に取り組む児童に育てたい力を明らかにし指導と評価の一体化をはかり、つねに「生きる力の育成」を中心にした実践をしていく。年間指導計画および各単元ごとの評価規準を作成し、多様な評価方法で自己の変容を知り次の学習に行かせる評価を行う。	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
甲府市	里垣小	主体的に取り組む子どもの育成を目指して	評価規準を用いた授業の工夫	生きていく上で必要な基礎学力を子どもたちに身につけさせるために、目標を持たせることが大切であり、その目標に近づくために自分の今の力や欠けている部分を的確に把握させることが必要だと考える。そこで、本校では昨年度から評価規準の作成に取り組んできたわけだが、本年度はその見直しと、それをどのような場面で、どのような方法で用いていくかを研究するとともに、授業の工夫についても研究を進めていきたい。	
甲府市	山城小	自ら学び主体的に問題解決に取り組む児童の育成	学力向上をめざす学びの創造	研究授業はもちろんのこと、日常でも授業の充実を図る必要がある。それは、めざす子ども像に近づくためでもあり、「学力向上」に向けた事業の「考察」を進めるためでもある。主体的に問題解決に取り組む力の育成に向けた支援・指導の工夫改善として、子どもの実態と教科の本質に基づいた授業の継続研究等、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善として、教師と子どもの評価を生かした個に応じた授業実践等を考えている。	文科省学力向上フロンティアスクール11月5日、山梨県基礎学力向上プラン
甲府市	羽黒小	ともに学び考え表現する子どもの育成	検討中	ともに学び、考え表現することについて共通理解をし、それを元に学年で算数か国語を通して主題に迫るにはどうしたらいいのかについて研究し、3ブロックで授業をして研究を深める。実態調査などをして子どもたちの実態を把握する中で学年の子どもには、何が足りないか、どういう力をつけてやる必要があるかを考慮しながらそれを埋めるための授業研究をしていきたい。	
南アルプス市	小笠原小	一人一人を大切に授業の研究	子どもの思いや願いを生かした授業のあり方	・総合的な学習、教科、道徳、特別活動の授業(研究主題に結び付け、選択して、全学年一つ授業提案をする。)・集会活動のまとめ(本校の特徴的な教育活動である集会活動について、内容の精選と充実を図るために、検討の時間を設ける。)・総合的な学習の時間の具体的な計画の検討と確認を、全体会で行う。・夏季休業中の研究会で、新教育課程の還流報告、教育相談の講演・先進校視察、公開研究会への参加	
南アルプス市	八田小	子どもが自ら課題をもち、追究する学習活動の創造	基礎・基本を大切にしながら	本校では、「自分で考え判断する力」を高めたり、「相手の立場に立って物事を考えたりする態度」を養うために、ここ数年「総合的な学習の時間」や「国語」の時間を使い研究を重ねてきた。本年は、今までの研究の成果をふまえ、更に研究を深化させていきたいと考えている。特に、昨年評価項目を明らかにしたので、その妥当性を追求していきたい。	
南アルプス市	落合小	自ら課題を見つけ進んで解決しようとする子の育成	問題解決的なアプローチによる単元の実践を通して	昨年度まで5年間総合的な学習の時間の研究を行ってきた。その成果として、子どもは活動の中で壁にぶつかった時、深く学ぶということを実感できた。自分たちの目標を達成するために、求めて知識や技能を学ぶ姿から、学びには知識・技能と思考や体験は決して対立するものではないことも理解できた。そこで、今年はそれをさらに教科の単元にも広げていきたいと考えた。	
南アルプス市	若草南小	自分で判断し行動できる子どもの育成	学び合い高め合う関係づくりを通して	全学級で授業を公開し、子どもの姿から学びを問いただすと共に、学び合い高め合う関係性に焦点を当てた授業改善に取り組み、自分で判断し行動できる子どもの育成を目指す。	(市)地域ふれあい道徳公開6月25日、11月26日
南アルプス市	大明小	自ら学び自ら考える力を育てる授業をめざして	各教科・領域の学習を通して	(1)自ら学び自ら考える力を育てる授業の創造のための基礎的研究(2)授業研修会実習校としての授業提供(3)拠点校方式の導入校としての運営に関わる(4)初任者配置校としての職能成長について	(県)初任者研修授業研修会実習校
南アルプス市	白根源小	ひとりひとりが生き生きと追究し、学び高め合う授業の研究	問題解決の力を育てる国語力を高めることを通して	個を生かした問題解決的な授業づくりの研究。ひとりひとりが生き生きと追究し、学び高め合う授業を目指す。今年度は、問題解決の力の基礎となる国語力を高めるための指導に重点をおき、研究を進める。(全教科 総合的な学習)	心に元気を育む道徳教育推進事業
南アルプス市	櫛形西小	心豊かな人間性を育む教育課程づくり	地域を学びのステージとする総合的な学習を考える中で	総合的な学習の時間について、本校の特色を生かした創意あるプランをつくり、検討する。ブロック毎に授業提案をする。	
南アルプス市	南湖小	生きる力をはぐくむ授業の実践	教科や総合的な学習におけるコンピュータの効果的な活用法の工夫	教科や総合的な学習の時間における内容の確実な定着のために、教育課程の中でどんな単元のどんな場面にコンピュータの利用が有効なのかをさぐる。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
南アルプス市	白根飯野小	学び合い 高め合う 子どもたち	子ども一人一人が思考力や表現力を高めるための授業のあり方	学び合い高め合う中で、子どもたち一人一人の思考力・表現力(学力)を育てる授業の創造と思考力・表現力を高める授業を工夫・改善し、その授業を積み重ね、教育課程を更新し、編成していくことを図画工作と算数を研究教科として研究する。	(文部科学省)学力向上フロンティアスクール指定校2月1日、(県)基礎学力向上やまなしプラン2月1日

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
南アルプス市	豊小	人間性豊かな児童の育成をめざして	コミュニケーション能力をつけるために、外国の人や文化に親しもう～「国際理解教育」の一環として、英会話を取り入れる～	今年度は「国際理解教育」を研究の中心に置き、様々な活動や体験を通して国際性を培っていこうと考えた。また、この一環として、外国語の初歩として英会話を中心に据え、子どものコミュニケーション能力を高めていきたいと思う。 ○総合的な学習等の時間の中で「国際理解教育」の内容を充実し、実践する。 ○「国際理解教育」の一環としての『英語体験活動』を教育課程に位置づけ、身近な英会話を学びながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。 ・目標・指導内容・指導法の工夫・教材開発・指導体制・年間指導計画・評価の模索	レッツ・チャレンジ小学生英語推進事業(県教育委員会指定)
南アルプス市	櫛形北小	自ら学び、考え、判断し、行動する子どもの育成	道徳的実践力の育成を通して	道徳教育において、道徳的実践力を育成するために、各教科・総合との関連、家庭地域との連携、体験活動、「心のノート」などを効果的に仕組み、活動することによって、「自ら学び、考え、判断し、行動する子ども」に育つであろう。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業指定校、(市)地域ふれあい道徳教育指定校
南アルプス市	白根百田小	「たくましく生きることができる子どもたちの育成を目指して」	歯・口の健康づくりの実践を通して	平成15/16年の文部科学省からの指定を受けて、学校教育目標の「たくましく生きる子ども」について取り組む内容の一つとして「歯・口の健康づくり」を切り口にして進め、子どもたちが主体となる健康活動を考えていきたい。社会生活の変化に伴い、子どもたちの生活にも変化が現れている。基本的な生活習慣の見直しから、学校での日常活動、保健指導、教科指導、等の様々な活動を通して子どもたちが主体的となる健康活動を進めていきたい。また、地域、家庭に向けても様々な関わりを持ち、歯と口の健康について考える機会にできればと考えている。	歯と口の健康づくり(文部科学省)
南アルプス市	白根東小	地域に根ざし、地域と共に生きる人間性豊かな児童生徒の育成	「五本の木」のさらなる充実をめざして	文部科学省より「平成16・17年度児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」の指定を受け、家庭や地域との密接な連携を行いながら、心に響く道徳の推進を目指したいと考える。	(国)児童生徒の心に響く道徳教育推進事業
南アルプス市	若草小	主体的に学習活動に取り組む、基礎・基本を身につける児童の育成	IT機器の効果的な活用を通して	各教科・総合的な学習の時間において、児童が主体的に学習活動に臨み、基礎・基本の定着に効果的なIT機器の活用法について研究・実践していく。	
南アルプス市	芦安小	自ら気づき、考え、豊かに表現する児童の育成	自分の体験や考えの表れる感想文指導	学校教育目標の具現化、基礎・基本の定着を図ることを考えの中核におき研究を進める。その中で教科は国語科とし、読書感想文を「書くこと」を中心とした表現領域として扱い、具体的な到達目標を設け、自分の体験や考えが表れる感想文指導に取り組む。このことを通じて、「書く力」を高め、児童の表現の幅を広げて行くことを目指している。そのため、感想文研究会、授業実践部会、評価部会を設けて取り組み、全校で実践する。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業指定校11月13日
中巨摩郡	竜王北小	相手を意識して、豊かに言語活動を展開する児童の育成		昨年度まで「生きる力」の育成について様々な領域で研究を行ってきた。その中で児童の発表や表現力が本校の児童には足りないという反省が出た。また、基礎・基本のさらなる充実についても課題としてあがった。これらの観点から、相手を意識して豊かに言語活動を展開する児童の育成を目指したいと思う。教科や領域は限定しないが、どの指導においても言語活動を伴うことを全校体制の中で確認した。	
中巨摩郡	竜王南小	国語科の基礎学力の向上	国語科の特性と児童の実態を結びつけた授業実践を通して	生きる力を支える確かな学力を身に付けさせるため、全校で、国語の教科観や学力観を確認し、実態に即した教育課程の編成を行う。編成した教育課程に則り、指導領域を重点化し、学習内容に適した言語活動を行わせることにより、基礎学力の向上を目指し授業実践を行う。	(県)基礎学力向上山梨プラン推進事業11月12日
中巨摩郡	竜王東小	自ら学び、共に伸びる学習に関する研究	算数における基礎学力の充実をめざして	算数の基礎学力の定着は個人差が出やすいため、個に応じた指導を工夫し、本校の特色であるオープンスペースを生かした研究を行う。	
中巨摩郡	敷島北小	基礎・基本の定着を旨とした授業の創造	国語科の学習を通して	あらゆる学習の基礎となることばの学習の基礎・基本を明らかにし、「読み」を中心とした指導法を研究し、進んで学習に取り組む児童の育成を目指す。	
中巨摩郡	竜王西小	子どもの学びが響き合う学校の創造	個の中に問題解決能力を育む、算数科の授業を通して	子どもの実態を考慮しながら算数科の学習を中心に、学力の向上を目指した取り組みを行っていく。また、単に知識や技術の向上だけでなく、子どもの学ぶ意欲・思考力・判断力なども含めた学力観にたった子どもの「学び」を創っていくという視点で研究に取り組んでいく。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
中巨摩郡	敷島南小	算数科における確かな学力の育成	～ つくる算数 楽しい算数を目指して～	「つくる算数」とは、自ら課題を見つけその問題解決に向けて既存の知識や想像力を総動員させて授業を創りあげていくことである。「楽しい算数」とは、学んだことが実生活において生きてはたらく力となる算数のことである。慌ただしい今を生きる子どもたちに、社会の変化に主体的に対応できる能力を付けさせたい。論理的に考えたり、事象を数理的に判断し実生活で活用したりする、即ち「算数で培う生きる力」を高める方法を探る。	(山数連)中巨摩地区発表校11月26日
中巨摩郡	竜王小	基礎・基本を充実させる学習指導法の研究	学ぶよさが体感できる算数科の授業を求めて	算数科の基礎・基本を、数学的な思考力・判断力・表現力(低・中・高学年の段階的な内容で)として位置づけ、本校としての指導法を構築する。そのために、教師の指導法と子どもの学習活動の視点から授業を相互評価し検討していくこと、指導に生かす評価の充実をめざして、学習過程にそった一人一人をみとる評価の手だてを工夫し実践していくこと等を通して、指導過程や方法を見直し授業のあり方の改善を図っていく。	
中巨摩郡	敷島小	21世紀を拓く数小教育の創造「確かな学力を持つ子どもの育成」	基礎・基本を定着させる教科指導の工夫を通して	学校教育目標の一つである「生きてはたらくたしかな学力を身につけた子ども」の具現化を図り、また学習指導要領改訂の基本方針に立ち帰り、「生きる力」をはぐくんできていくうえでの、「確かな学力」を育成することをめざす。そのために子どもたちにとって必要な力はなにかを探り、明らかにされた課題について、教科指導のなかでどう組み込んでいくかを工夫・改善していく。	
中巨摩郡	玉幡小	心豊かに、自ら学び、自ら考える児童の育成	コミュニケーション能力を高めるための国語力向上をめざしてのアプローチ	「生きる力」を育成していくためには、主体的に活動し、判断していくための土台となる基礎基本の学力の徹底が不可欠である。今年度は、国語力向上をめざしての様々な方策を模索しアプローチしていく中で、国語力の基礎基本を明確にし、実践していく。さらに、家庭・地域との連携を図りながら、日常生活の中で、読書活動を通して豊かな感性を育てることや子どもたちを取り巻く言語環境を整えることなど、学校教育活動全体の中で、日常生活に「生きて働く国語力」を育てていきたい。	(県)心をたがやす国語力向上推進事業拠点校
中巨摩郡	田富南小	主体的に生き生きと学ぶ児童の育成		「心、知、体を磨く」の教育指標と「豊かな心とたくましい体を持ち、主体的に学ぶ子」の育成をめざす教育目標を受け、全校児童が基本的な生活能力を土台としながら、教科学習等から『基礎・基本』として習得した「知・技」を、個々のレベルに応じて、生活場面での活用を試みたり、問題の解決への発展的応用を図るなど、いわゆる「生きる力」の主体的増進のために様々な経験を重ねながら、現実社会と真正面から向き合い、よりよい社会のあり方を求め続け、同時に自己向上にも努め続けられる「問題解決のための主体的、創造的な態度」を備える望ましい国際人としての日本人の育成をめざし、研究主題が設定され、実践を中心とした研究活動が開始された。	(国・県)学力向上フロンティア事業11月12日。(県)基礎学力向上やまなしプラン11月12日
中巨摩郡	田富小	「『確かな学力』を育てる授業の創造」に関する研究	「確かな学力」を育てる学習指導と評価の一体化を通して	研究仮説を、教科(国語・算数・生活科)及び「総合的な学習の時間」において、学習課程に、個に応じた指導と評価の一体化を図ることによって、確かな学力を身につけた子どもが育つであろう、仮説をと立て、学習指導目標の明確化でもある具体的評価規準等の作成、評価の場・評価方法研究、及び、TT指導等の個に応じた指導方法・指導体制の在り方を探ることによって、基礎・基本の学習の定着を図る研究を行う。	(国)学力向上フロンティア事業指定校10月29日
中巨摩郡	田富北小	「生きる力を育てる教育活動の創造	思いや考えを深め、進んで表現し、互いに学び合う活動を通して	「生きる力」を育てるため、総合的な学習の時間及び生活科の学習活動を見直し、児童が思いや考えを深め、進んで表現し、互いに学び合う学習活動を探り、日々の教育実践に生かす。また、自己評価、相互評価、教師評価を学習活動の中に位置づけ、自己評価の方法や確かな自己評価力を付けるための方法を実践と関連して研究する。田富北小の評価基準について実践と関連して検証していく。	
中巨摩郡	玉穂南小	自ら学ぶ子どもの育成	子どもたちが主体的にかかわる学びを目指して	学校ビオトープの造成・育成・管理を進めていく中で、その活動を教育課程の中に組み込むことによって、身近なものとしていく。さらに、五感を使った直接的体験から子どもたちの情操力を増すこともねらうことを目指す。また、「地域を育てる環境活動推進事業」の指定校にもなっていることから、身近な生活の中で簡単に取り組める環境活動のあり方を追究し、地域と共に環境について取り組んでいく方法を研究していくことも目指していく。	山梨県教育委員会地域を育てる環境活動推進事業
中巨摩郡	三村小	「学びをひらく子どもの育成」	一教科・領域における子ども理解と個に応じる指導の研究	「学びをひらく子どもの育成」するために、授業づくりを中心に組織研究する。今までの研究を生かして、学習課題の在り方(学習内容と子どもとの関係を切り口にした授業づくりの研究)と個に応じた指導(学習方法・指導方法を切り口にした授業づくりの研究)と子ども理解(評価活動を切り口にした授業づくりの研究)の3観点から授業実践を行う。全教員が校内研に関わった授業実践を行う。そのために授業実践予定表を作成する。	
中巨摩郡	西条小	優れた知性を持ち、心豊かに、主体的に実践する児童の育成	算数科における、基礎・基本の定着と確かな学力づくりのための指導の具体化を通して	算数科において、きめ細かな指導を実践するため、「TTによる効果的な指導法」を開発し、基礎・基本を効果的に身につけさせる工夫をする。校内を、低・中・高の3ブロックにわけ、各ブロックごとに公開授業を行い、全体研究会で討議を行う。授業公開を行わない学年は、報告書を作成し、全体研究会で報告する。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
中巨摩郡	常永小	自らの学びを拓く子どもの育成	社会科及び食教育を通して、「基礎・基本」の確実な定着と個性を生かす授業の創造	社会科の学力を学習指導要領の内容の総体としてとらえ、学習指導要領の読み取りに基づく授業作りに取り組む。又、評価規準の設定に基づく、絶対評価を行う上での課題についての研究も行う。	基礎学力向上やまなしプラン・社会科、11月2日

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
中巨摩郡	押原小	「確かな学力」を身につけた児童の育成	「基礎・基本」とは何かを探る	知識や技能、思考力や判断力、関心・態度・意欲などの総体としての「確かな学力」を身につけた児童の育成をめざし、算数科を通して研究を進める。本年度は、3年次計画の初年度として、「確かな学力」の「基礎・基本」について、公基準や先行研究例などに基づく理論研究や、実際の授業を通じた事例研究を行いながら具体的に探っていく。それをもとに「基礎・基本」の内容整備や指導方法についての見通しをたて、次年度につなげる。	
塩山市	塩山南小	意欲的に生活を創り出し実践していく子どもの	教科学習における指導と評価の一体化をめざす	基礎・基本の定着を図るための学習指導法を研究するとともに、指導と評価の一体化をめざした評価のあり方についても探っていく。そのため算数科では具体的操作活動を取り入れた学習を展開し、国語科では国語力向上に向けての理論研究を行い日々の実践に役立ていく。さらに適切な評価と指導を行うために昨年度作成した評価規準を実際に活用し見直しを行う。	
塩山市	大藤小	主体的に学習できる児童の育成	算数科における個を伸ばす指導法の工夫を通して	学年の実態に応じた課題をつかみ見通しを持った指導方法を工夫する。子ども一人一人の実態把握をする。算数的活動を学習の中に積極的に取り入れた指導を工夫する。発展的な学習や補完的な学習など個に応じた教材教具の工夫改善をする。個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善をする。朝学習による反復練習への取り組みの工夫をする。家庭との連携をはかる。	
塩山市	松里小	基礎・基本的な内容の定着をめざした研究	主体的な学びを育てる支援の工夫	主体的な学びを育てるために、発見的な動機付けとして、問題解決的な学習過程の工夫（課題提示の工夫、問題解決的な学習への支援）を行う。内発的な動機付けとして、自己評価能力の育成による自信の育み（ふりかえりカードの工夫と、実践）を行う。	
塩山市	神金小	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して	学習意欲を育てる国語の授業づくりを通じて	学校課題を解決・改善するため、また、これまでの研究成果を踏まえ、主体的な児童の育成を目指した研究を行う。研究の対象として、児童の知的活動の基盤として、また、あらゆる知識の獲得と能力の形成にかかわる国語教育に焦点をあて研究を進めていく。児童の学習意欲を高める教材の工夫や指導方法を工夫し、評価規準にも目を向け意欲面だけでなく学力面の向上も図っていく。	
塩山市	玉宮小	生き生きと学び合う子どもの育成	伝え合う力を育てる指導の工夫	国語科の授業を中心に、話す力と聞く力を伸ばし、効果的な伝え合う活動をしくみ、伝え合う力を育てる指導の工夫について研究する。児童の実態調査を行い、課題を明確にするとともに、手だてについて研究する。話すこと・聞くことに関する理論研究をする。研究仮説に沿った授業実践を一人一実践行い、授業を通して学び合う。互いに認め合い、伝え合うことができる学級づく	
塩山市	井尻小	意欲的に取り組み、自ら追究する児童の育成	個に応じた学習指導方法の充実を通して	個に応じた学習指導方法、指導体制の工夫・改善として1・2年：生活科、3～6年：算数科においてTTを実施する。本校としてのTTの進め方や子どもたちの変容について調べ研究する。	学力向上F、基礎学力向上やまなし指定10月29
塩山市	塩山北小	心豊かで、確かな学力と伝え合う力を持った児童の育成		今年度は「心をたがやす国語力向上推進事業」の拠点校としての指定を受けた。子どもの問題がいろいろ取りざたされている現在、学校教育に求められているものは、あらゆる知的活動の基盤となり、言葉や文字などによってコミュニケーションを成立させる国語力の基礎をしっかりと築くことである。昨年までの研究を更に発展させ、地域の方々と連携を深めながら、子どもたちの国語力を高め、情緒豊かな子どもを育成していきたいと考えている。	心をたがやす国語力向上推進事業の拠点校
塩山市	奥野田小	自ら学び、生き生きと活動する子どもの育成	「伝え合う力」を生かして道徳性を高める	道徳のねらいについて学習したり、道徳性の実態調査を実施したりする中で、道徳の授業に「伝え合う力」を生かした活動を取り入れ、お互いの理解を深めて道徳性を高めることを中心に取り組み、自ら学び生き生きと活動する子どもを育てていきたい。	心に元気を育む道徳教育推進事業指定校11月
山梨市	加納岩小	豊かな学力の育成	子どもたちの学びの実感を求めて	国語科・算数科を中心に、学習指導カウンセラーを活用し、子どもたちの学習状況の把握、教育課程に関する自己点検・自己評価、及びそれに基づいた指導計画や指導方法を改善することによって、子どもたちの学力の向上をはかる。	学習指導カウンセラー派遣に伴う調査研究事
山梨市	日下部小	「確かな学力」を保証する指導の研究	「表現力」「思考力」「判断力」における基礎・基本の定着をめざして	「確かな学力」における「表現力」「思考力」「判断力」を子どもたちの具体的な姿として描き、学年における系統を試行する。確実に身につけさせたい力を基礎・基本とし、それらを保証する手立てや授業の工夫を研究する。	
山梨市	堀之内小	自ら学び、生き生きと活動する児童の育成	英語活動を通して	本校は、今年度、県の「レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進校」の指定を受けたことから、特別活動及び総合的な学習の時間で扱う国際理解教育の中の「英語活動」に重点をおき、自ら学ぶ児童の育成を目指して研究していくこととなった。本年度はまず、山梨市から出された「山梨市小学校英語基本シラバス」をもとにして、本校独自の「年間活動計画」の作成を行い、子どもたちが興味関心を持って、生き生きと活動できる授業内容の工夫を行っていく。	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進校
山梨市	八幡小	学ぶ意欲を高める楽しい授業の開発	知的好奇心を引き出す導入の工夫	本校では子どもたちが生き生きと学ぶためには、まず勉強を好きになることが大切と考え、子どもが意欲的に学習するような授業づくりについて研究している。本年度は2年目の研究である。今年は特に導入の工夫について研究したい。	心を育てる道徳教育指定校

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
山梨市	山梨小	「生きる力」を支える基礎・基本の確実な定着をめざす学習指導の工夫	～国語科・算数科における確かな学力を育むための評価方法の工夫～	子どもたちに求められる学力が「生きる力」を知の側面から捉えた「確かな学力」であることを踏まえ、知識や技能のみならず、思考力・判断力・表現力や学が意欲など、ペーパーテストでは評価しにくいとされる力を含めた、子どもたちの「確かな学力」の総合的な状況を的確に把握し、それに基づいた指導と評価の一体化を図った評価方法(国語科・算数科)の工夫をしていく。	
山梨市	岩手小	生き生きと学習する児童の育成	算数科における基礎・基本の着実な定着を目指して	学習全般に対する意欲を高め、わかる喜び・楽しさを感じながら、自主的に学習に取り組む児童の育成を目指し、今年度は算数科にしぼり、次の二点を中心に研究していく。理論研究や講師を招いた学習会を通して、評価方法と学習指導方法についての理解を深める。一人一実践及び授業研究により、基礎・基本の着実な定着を目指した学習指導についての検証をしていく。	
山梨市	後屋敷小	子どもたちに生きる力をはぐくむ研究	金銭教育への取り組みを通して	児童に実態調査を行い、昨年度の実態調査と比較し、意識の変容を把握する。金銭教育に関わる実践授業を行う。全体での授業研究を1年道徳、3年総合、6年家庭科で行う。低学年、中学年、高学年部会に分かれ、年間指導計画の中から、なるべく直接金銭に関わる所を取り上げ、より実践が深まるように教材研究を行い、共通理解を図る。保護者との連携を図る中から発展的に地域社会への啓発に努める手だてを採る。	金銭教育研究校
山梨市	日川小	主体的に学ぶ力を育てる	総合学習における、自己表現力を高めるための指導の工夫	総合学習における、めざす子ども像の③「自分らしく表現する子」に焦点を当て、特に「発表・表現」に関する、子どもたちの「自己表現力」を高めるための、効果的な指導のあり方について探る。	
東山梨郡	牧丘第一小	主体的に学び、いきいきと活動する子どもの育成	学ぶ意欲を育てる評価の工夫と展開	教科、及び総合学習において、子ども自身が自己を評価するための具体的な評価基準、子どもにわかりやすい目標の設定、日々の実践に適した方法、全体計画の中への位置づけなどに視点をおき、授業実践の中で自己評価能力を育てる研究を進める。	
東山梨郡	牧丘第二小	主体的に学ぶ児童の育成	伝え合う力の向上を目指して	伝え合う力の向上を図り、子ども達が主体的に学ぶことができるような指導の工夫、環境の工夫を実践し、授業公開・授業研究を実施し検証していく。学習過程や支援のあり方、評価についても扱う。国語科を中心に伝え合う力の育成に必要な基礎基本、系統的な指導目標や指導内容の設定を行い、全体研究の他にブロック研究をし、研究を推進していく。他教科や様々な教育活動との関連も図り、全校的な取り組みも検討していく。	
東山梨郡	牧丘第三小	主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力の定着を図る学習指導を通して	昨年度から、主体的に学習を進めていくことのできる児童の育成をするための研究を重ねてきた。今年度は、昨年度の物をさらに積み重ね、基礎学力を確かな力として定着させるための学習方法や指導方法を研究することとなった。個人カルテと学習チェック表及び学習カードの工夫・改善。学習習慣及び学習態度の育成を図るための指導。朝の会・帰りの会の内容の進め方の工夫、朝読書の効果的な実践、家庭学習の実践。個に応じたわかる授業の実践などに取り組む事となった。全教員によるオープン授業の実施も行ってお互いに学び合うことをしていく。	
東山梨郡	大和小	自ら課題を見つけ、自ら学ぶ児童の育成	地域から学ぶ「ひびきタイム」と「道徳」の実践を通して	総合的な学習の時間における全体計画と指導計画の作成を行う。評価方法(ポートフォリオ)の研究も昨年度に続き行っていく。また、基礎学力の定着と発展にも力を入れる。体験活動を生かした取り組みや地域素材を生かした教材開発を行っていく。	心に元気をはぐくむ道徳推進事業
東山梨郡	祝小	「自ら学び、自ら考える子どもの育成」	国語科・算数科を中心に	本校では、昨年度から「自ら学び、自ら考える子どもの育成」をめざし新教育課程実施後の児童の学力の実態を客観的につかんだ上で、基礎・基本を着実に身につけさせるにはどうしたらよいか、国語科・算数科を中心として研究を進めてきた。本年度も、昨年の研究の成果をいかしつつ、国語科・算数科について、基礎・基本の定着を図るための具体的な学習指導方法と業前活動の充実についてさらに研究を進めていく。	
東山梨郡	菱山小	意欲的に活動する子どもの育成	自分の考えを言葉で表現する力の育成を通して	言葉による表現の基礎となる「聞くこと、話すこと」を含めた実態調査を行い、それぞれの学年や児童の実態にあった指導方法を工夫することにより、自分の考えを言葉で表現できる子を育成していく。	
東山梨郡	東雲小	自ら考え、判断し、実践できる子どもの育成	「総合的な学習の時間」のカリキュラムの開発と評価の在り方	各教科、道徳、特別活動との関連を明確にした「総合的な学習の時間」のカリキュラムの開発と評価規準の見直しとその活用方法について研究する。	
東山梨郡	三富小	主体的に学び生き生きと活動する児童の育成	一人一人を生かしたコミュニケーション能力の向上を目指して	本校児童は、少人数学級のため、日常会話が単語で通じてしまったり、家庭においても子どもたちの考えを話さないうちに、家族が心を先読みして、解釈してしまったりする場面が多いことがその原因であるだろうと推測される。そこで、今年度県の指導重点事項の中に国語力の向上がうたわれているので、一人一人の国語力の育成に力を注ぎ、基礎的・基本的なものに絞り、国語科を通して、表現力・発表力＝聞くこと・話すことの確実な定着を目指して、上記の研究主題を設定した。	山梨県ボランティア活動普及協力校、山梨県省エネルギー指定校

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
東山梨郡	勝沼小	自ら学び、考え、主体的に判断する子どもの育成	知の総合化をめざすカリキュラムの開発	総合的な学習の時間を実践するにあたり、様々な課題が生じている。その課題を解決してより総合的な学習を充実させるために、学年ごとの目標や内容、カリキュラムについての見直しを行うことにした。まず、総合的な学習を通してどんな子どもを育てたいのか具体的な目標を立てて、教科学習との関連を内容と培う力の両方の分野から研究して整理していく。そして、教科学習との関連を念頭に置き、子どもの活動を見極めながら教科で学んだ学び方や知識、技能を生かせるようにカリキュラムの開発	
東山梨郡	春日居小	主体的に取り組む児童の育成	地域を生かした授業づくりを通して	昨年度、地域素材を洗い出す作業はほぼ終了したので、今年度はそれらを教材化していきたい。また、昨年度は地域素材として文化財などの人文社会分野のものを重視したため、自然分野の地域素材の掘り起こしが十分ではなかったため、今年度、取り組む。	
東八代郡	芦川小	自ら学び、自ら考え、主体的に活動できる子どもの育成	体験的・問題解決的な学習を通して	(1)教科の学習、総合的な学習の時間において◎体験的・問題解決的な学習過程を取り入れた授業づくり・基礎・基本の明確化・ルーブリックによる形成的評価の理論研究と具体的な取り組み・地域素材を活かした授業づくり	
東八代郡	石和南小	豊かな心をもち自ら行動する子どもの育成	一人一人の学びを深める活動と個に応じた指導・評価を通して	一人一人の学びを深める国語科・算数科の教科指導の研究指導と評価の一体化の研究 学級経営案に基づいた学級集団づくりの研究 一人一人の生き方につなげる教育環境の充実	峡東地区初任者研究実習校
東八代郡	御坂西小	豊かな心と確かな学力を持つ子どもの育成	一人一人を大切にできるコミュニケーション活動を通して	教科・道徳の授業において、子ども一人一人の実態を適切に把握して個を生かすようなコミュニケーション活動を仕組み、学習意欲につながるような評価や指導に生かせる評価をすることで、豊かな心と確かな学力を持つ子どもの育成を目指す。	(国)学力向上フロンティア事業
東八代郡	富士見小	自ら学び自ら考え主体的に学習する力の育成	体験的・創造的な活動の設定と教師の支援の工夫を通して	国語科・算数科の学習過程に体験的・創造的な活動を設定し、教師の支援(自己目標の再設定自己評価活動・中核目標の設定と形成的評価)を行うことにより自ら学び自ら考え主体的に学習する力を育成しようとする仮説検証型研究	
東八代郡	石和東小	自ら学び、自ら考え、生きる力を持つ児童の育成	算数科の課題解決的な学習に、効果的な振り返りの活動を位置づけて	算数科の課題解決的な学習に、効果的な振り返りの活動を位置づける取り組みをしていく。自力解決から小集団交流、そして全体での練り合わせを考えていこうとしている。既習事項の振り返り、解決方法の振り返り、学習全体の振り返りの3つを大切に算数指導の研究である。	
東八代郡	石和西	生きる力を育む学習活動の創造	進んで思いや考えを表現し、互いに学び合う活動を通して	「生きる力」の知徳体の3つの側面を授業づくり・集団づくり・環境づくりの3つの部会において、総合的にバランスよく育成していく。今年度は授業づくりに重点をあてて研究を行う。国語・算数の学習過程において、ルーブリックを使い自己目標を設定しながら、意見や思いを交流する場面を取り入れた学習を継続しておこなうことにより、確かな学力を育成していく。	
東八代郡	一宮西小	自ら考え、学び合う子どもの育成	算数科における、問題解決的な学習過程と評価活動の工夫を通して	算数科を研究領域に、問題解決的な学習過程の展開から、子どもたちに「生きる力」としての問題解決力と学び合いを育む研究を行う。一人一人の学びを受け止め、一人一人の学びを励まし合う関わりを支える評価活動の在り方と指導方法を研究し、継続的に実践することでテーマに迫る。研究の推進に当たっては、学級集団づくりの視点からのアプローチを取り入れ、開かれた学級をめあてに、人と関わり学び合う力をつけさせていきたい。	
東八代郡	御坂東小	自ら考え、課題を見つけ、いきいきと学ぶことができる子どもの育成	総合的な学習の時間における一人一人のよさや可能性を伸ばす評価活動を通して	総合的な学習の時間において、昨年度作った評価規準を見直し、より実践的な評価規準を設定する。また、評価における理論研究を通して、評価計画を位置づけた学習活動計画の作成、実践を行う。評価については、個人内評価、自己評価・相互評価、指導と評価の一体化について研究を深め、主題である自ら考え、課題を見つけ、いきいきと学ぶことができる子どもの育成に迫っていく。	地域を育てる環境活動推進事業
東八代郡	一宮南小	生き生きと学習する子どもの育成		生き生きと学習する子どもの育成をめざして、児童の認識過程に即した指導・学習法の研究を行う。授業構造仮説から学ぶ。授業実践を通して研究を深める。教科・領域は特定しない。	
東八代郡	境川小	生き生きと活動し、基礎・基本を確実に身につけていく子どもの育成	論理的思考力を育てる指導と評価の工夫を生かして	生き生きと活動し、基礎・基本を確実に身につけていく子どもを育成するために、論理的思考力を育てる一人ひとりの学びを大切に指導と評価について考えていく。さらに、全教職員で学習し実践を行い、指導と評価について検討・分析を加えながら、本校の課題克服に役立てたいと考える。論理的思考力を育てる授業のあり方を探ることを国語科と算数科で行う。学校保健の取り組みを通し、基本的な生活習慣の定着の重要性と「いのちの授業」の重要性を示していく教科との関連を考えた保健指導・保健学習	学習指導力ウンセラー派遣事業、東八代郡学校保健会

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
東八代郡	中道南小	「生き生きと取り組む、わかる」授業づくりを目指して	算数科における一人一人の学習に寄り添って	算数の授業を通して算数的活動やヒョコ活動を仕組みながら、一人一人の学習に寄り添うことで「生き生きと取り組み、わかる授業」をつくっていく。	
東八代郡	中道北小	豊かな心を持ち、自ら実践する子どもの育成	～コミュニケーション活動を通して～	本校では、学校教育目標の具現化を目指して、次のような研究内容を設定した。①学級経営案を生かした思いやりのある学級づくり②他と関わり合いを持ちながら自己表現できる授業づくり③豊かな心を持つ子どもを育てるための全校集団づくり、地域・父母との連携づくり	(県)心に元気をはぐむ道徳教育推進事業7月5日
東八代郡	八代小	生き生きと活動する子どもの育成	伝え合い響き合うための活動をととして	1. 授業・集団づくり 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の学習活動において、伝え合い響き合うための活動を仕組みることにより、生き生きと活動する子どもの育成がはかれると考える。内容としては、児童理解・発達段階に応じた手だて表の作成・教材教具の工夫・自己評価相互評価・表現力について研究を進める。2. 教育環境づくり 子ども理解や地域・家庭との連携を深め、生き生きと活動する子どもの育成をはかる。	東八代郡教育協議会次年度センター校10月末、(県)英語コミュニケーション活動
東八代郡	石和北小	自ら学び、自ら考える子どもの育成	基礎基本を身につけさせるための手立てを取り入れて	昨年度までの研究を引き継ぎ、形成的評価の結果を生かし、授業の改善策として「補充学習」「再学習」「指導計画の変更」などの手立てを行い、児童に基礎基本を身につけていくように取り組み、研究主題である「自ら学び、自ら考える子どもの育成」に迫りたいと考えている。なお、教科領域は絞らないものとする。	
東八代郡	一宮北小	進んで自分を表現する子どもの育成	一人ひとりへの継続的見取りと支援を通して	「表現活動において、発表への満足感を味わえるような指導法を継続的に取り入れることにより、進んで自分を表現できる子どもが育つであろう。」を研究仮説に、一人ひとりが自分の考えを大切に、進んで表現しようとする意欲の向上についての研究。本年度は、特に、言葉で表す表現活動に焦点を当て、継続的・長期的な学習カルテの活用をする中で、個に応じた支援を行う。理論・実技研修も実施する。	
東八代郡	豊富小	学びの意味に気づき、自ら学びともに学ぶ豊富な子ども	学ぶ意味に気付かせる評価の実践を通して	教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間において、学ぶ意味に気づかせる評価の在り方を研究し、学びの意味に気づき、自ら学びともに学ぶ子どもを育成する。	(国)豊かな体験活動推進事業「ふれあい福祉・ボランティア活動推進校」、(国)省エネルギー教育推進モデル校
西八代郡	市川東小	主体的に活動し、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりをめざして	自分の思いや考えを伝え合う力を高める指導の工夫	自分の思いや考えを伝え合う力を高めるための指導方法について理論研究を行う。そのためには、文献や講師を招聘しての理論研究を進めるとともに先進校への視察も行いたい。また、授業実践を行い、子どもたちの変容の様子や指導の工夫について研究を深めたい。低高二つのブロックで国語の指導方法とその工夫について探っていく中でどのような指導や援助が有効かつ必要か研究していく予定である。	
西八代郡	上九一色小	自ら学び心豊かに生きる児童の育成	伝え合う力を高める国語科の授業を通して	1国語科の学習についての理論研究 2国語科の基礎的事項習得の計画(教えるべき内容の精選) 3国語科の学習の評価規準、評価方法の検証と改善 4「伝え合う力」を高める国語科の授業の工夫と実践 5「指導と評価」を図った国語科の授業の実践 6研究授業(検証授業)の実施 7コンピュータなど教育機器の操作を高める研修	心に元気をはぐむ道徳教育
西八代郡	富士豊茂小	自ら学び・まとめ・表現する児童の育成を目指して	地域に根ざした教育課程の改編と評価を通して	地域に根ざした教育課程の改編・実践と評価規準の作成①生活科、社会科、理科の単元を整理し、地域性を生かした教育課程の改編②生活科、社会科、理科の評価規準の作成と系統的な指導の研究と実践	小規模学級経営研究指定校(峡南教育事務所)公開日は未定
西八代郡	精進小	自ら考え豊かに表現できる児童の育成	国語科の「話す」「聞く」活動の指導を通して	児童の学習の指導に焦点を当て、すべての教科の基礎となる国語科の「話す」「聞く」活動を中心に思考力・表現力の育成を目指す。まず、「話す」「聞く」についての理論研究を全体で行い、講師の先生を招聘して研修したり、学習指導要領の目標や内容の確認をする。その後、授業案づくりや授業実践を行ったり、児童理解を深めるためにカウンセリング研修を行ったりすることで研究を進める。	(県)心に元気を育む道徳教育推進校12月10日
西八代郡	六郷小	「学びを問う～かわり合って学ぶ授業の創造～」	ひとりひとりの思考力・表現力を豊かに育てることを通して	昨年度に引き続き、算数科に焦点をあてて、＜単元構成の工夫＞とそれに伴う＜T・T体制のあり方と評価のあり方＞を探っていく。＜単元構成＞については、単元の中で＜意見を交換しあって単元の本質を獲得させる場面＞と＜習熟を図る場面＞とを、教材研究により見極め、それぞれの場面に適したT・T体制のあり方・評価のあり方を検証していく。特に評価については、「書く活動」に視点をあてて研究していく。	「学力向上ボランティア事業11月19日

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
西八代郡	市川小	自ら「見つめ、調べ、まとめ、表現する」子どもたちの育成を目指して	一授業を通して有効な評価と支援のあり方を探る	①評価規準の検証。指導と評価の一体化を目指す授業実践。②総合的学習の評価規準の作成。③調べ学習のニーズに応えるための情報収集や資料整理、学習情報センターの充実。④情報機器を使った指導技術向上を目指すパソコン研修。⑤評価を生かし個に応じた支援についての学習会。⑥生活科・総合・算数の研究授業。	
西八代郡	大塚小	心身ともにたくましく主体的に活動する子どもをめざして	コミュニケーション能力を育てる学習活動とルーブリック評価を通して	「自ら考え、学び、行動する子ども」を目指す子ども像としてとらえ、コミュニケーション能力を育てるための「話すこと、聞くこと」に重点を置いた授業研究を行い、その授業においてルーブリックの評価方法を用いて児童の変容を分析する研究を進めていく。本校なりに捉える学ぶ力の3要素の中の「学習の基礎力」については基礎基本の定着を図るために工夫を凝らした取り組みを考え、「学習できる体と心」については学校生活全体を通して、職員全員が共通理解のもと日々取り組んでいく。(教科・領域は決まっています)	金銭教育指定校
西八代郡	市川南小	ひと・こと・ものとのふれあいを通して、道徳的実践行動をする児童の育成		地域のひととのふれあいを通し、地域のよさを実感したり地域への愛着や繋がりを深めさせる。さまざまな体験活動を通して、自己を肯定的にとらえ一人一人がよりよく生きる豊かな道徳的実践力のある児童を育成する。	平成16・17年度児童生徒の心に響く道徳教育推進事業
西八代郡	上野小	自ら生き生きと学習に取り組む子どもの育成をめざして	実践をとおして伝え合う力(聞く力、話す力)をどう育てるか	昨年度の研究結果から「聞くこと」の意識や、それに伴い「話す」力も少しずつ高まってきているものの、研究の深化をどうするかという課題が浮き彫りにされてきた。そこで「聞くこと・話すこと」に焦点を当てて、全教育活動の実践をとおしてテーマにせまることとした。	
西八代郡	久那土小	響きあい、共に育ち合う授業をめざして	個人研究・国際理解教育にどう取り組むか	平成10年度より継続して研究している「響きあい、共に育ち合う授業」作りについて、各自が個人研究テーマを設定して研究を進めるとともに、本年度山梨県より指定を受けた「レッツチャレンジ英語活動推進事業」について、国際理解教育を全職員の共通研究課題として取り組む。	レッツチャレンジ英語活動推進事業
西八代郡	下部小	自ら考え、主体的に学ぶ児童の育成	「楽しく学べる校内研」の具体的な方法を明らかにするために	子ども達が関わり合って学ぶ授業を通して学びへの意欲や、表現力、思考力などを育てたいと考える。しかし、そのためにはまず、教師が関わり合って学ぶことの楽しさを、関わり合って学ぶために必要な知恵を持っていなければならない。そこで教科を限定せず授業方法の研究を通して校内研の在り方を工夫することとした。	
南巨摩郡	早川南小	自ら取り組み、生き生きと活動する児童の育成	小規模校の特色を生かした学習活動の工夫	小規模校の特色を生かした「国語力」を付ける学習活動の工夫。・国語科における基礎基本のとらえ、生きる力につながる学習指導の在り方。・言語能力を身につける学習指導の工夫。・言語技術を身につける指導計画の作成。・発展学習の場としての全校活動における学習活動の工夫。・個に応じた学習指導方法の工夫。・学習意欲を高める自己評価の工夫。・読書活動の	
南巨摩郡	身延北小	生きる力を育む教育活動の創造		学習指導を中心内容にして研修を進める。・「自ら学び自ら考える」学び方。・学習集団づくりとともに個を生かす授業の構築。・学び方を学ぶ。の3点を重点内容として実践的に研修を深める。	心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業10月27
南巨摩郡	増穂西小	確かな学力を育てる授業の創造	出会い、伝え合いのある授業づくりを通して	教科学習を通して、「意欲の生まれる授業」「集中が生まれる授業」「言語能力が高まる授業」の3つの視点に重点をおいた授業づくりに取り組んでいく。教科の基礎・基本の吟味、魅力ある教材の開発、友達との対話・討論のある授業づくりなどに取り組みながら、全クラスによる授業研究を行っていく。	増穂町教育委員会指定研究センター校
南巨摩郡	身延西小	学びを楽しむ子どもの育成	算数の「確かな学力」の向上を図る	算数の確かな学力は、指導要領に示された基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせること(テストでは8割以上)、そして、自ら学ぶ力を伸ばすことの2点によって可能である。研究をすすめるに当たって課題を2点に絞った。T・Tによる個に応じた指導の追究、効果的な評価方法の工夫である。この2点の追究をもとにテーマに迫ろうと計画している。	学力向上フロンティアスクール+11/17
南巨摩郡	栄小	豊かな心を持ち、生き生きと活動できる子どもの育成	楽しい読書をすすめるための実践と総合的な学習のよりよい評価を目指して	昨年度に引き続き、県教委から指定を受けた「わくわく読書推進指定校」に関わって、子どもたちの読書活動を活発にする取り組みと、総合的な学習の時間の評価法や評価規準の確立によって研究主題に迫ること	(県)わくわく読書推進指定校
南巨摩郡	富河小	自ら学び、たくましく生きぬく子どもの育成	自分の思いや考えを生き生きと表現できる子ども	自己表現力の育成を中心に研究活動を推進する。各教科、領域にわたり、指導課程における場の設定、支援のあり方、学習形態、評価方法の工夫について探る。また、話し伝え合う力、相手のよさを認め合う力を育む日常活動の充実にも取り組む。	(県)地域を育てる環境活動推進事業

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
南巨摩郡	増穂小	実感のある学びを育む授業の創造	「総合」「生活」の学びの視点を生かした授業の活性化をめざして	長い伝統のある「総合」と「生活」の実践を通して培った学びの視点を生かし授業の活性化をめざしていく特にかかわり合いや学び合いの視点を十二分に活用して実感のある学びを育む授業創造を志向する具体的には国語・生活・社会の授業研究に取り組む中でテーマを意識した授業づくりについて考え同時にワークショップ的な研究会スタイル研究も継続し定着をめざしていく。	
南巨摩郡	西嶋小	「生きる力を育てる」	～「総合学習」と「基礎・基本を大切にしたい教育活動」の研究を通して～	総合学習・教科各々の学習過程におき、基礎・基本を定着させ「育てたい資質・能力」を明確にしなが、授業実践を行う。児童の主体的な学習活動の経験から、学ぶ意欲・思考力・判断力・表現力などを要素とする「生きる力」の育成を図る。児童の実態をふまえ、日々の教育活動で教材をいかに単元として構想し構成していくか、授業を創っていくかをポイントにする。	
南巨摩郡	静川小	自ら学び、自分の考えを豊かに表現できる子どもの育成	基礎・基本の充実と「総合的な学習の時間」の創造	総合的な学習の時間の学び、及び各教科等の学びを支える基礎学力の充実を図る試み、また、総合的な学習の時間の全体計画の授業実践による検証と見直し等を通し、「自ら学び、自分の考えを豊かに表現できる子どもの育成」をめざしていく。また、生命の教育・道徳教育の推進を図る。	
南巨摩郡	身延南小	豊かな人間性の育成をめざす教育	子ども一人ひとりに生きる力を育む授業の創造	(1)生きる力を育む授業づくり ・個を生かす授業の創造 ・絶対評価の研修 (2)コンピュータの研修 (3)教育課程の改善	
南巨摩郡	鵜沢中部小	進んで学び、考える子どもの育成	一人一人に学びのある総合的学習の時間・生活科を通して	今年度の研究では、総合的な学習の時間・生活科の中で昨年度までの研究の成果を生かしつつ、一人一人が分かる喜び・学ぶ楽しさを実感できる授業の方法を探っていく。また、本校独自の総合的な学習の時間・生活科を組み立てていく。	
南巨摩郡	身延東小	共に学び、共に生きる子どもの育成をめざして	子どもが手応えを感じる「学び」の追究	身近な地域の人々や自然・社会とふれあい、周辺の豊富な学習素材を生かしなが、子どもが楽しんで取り組む「地域学習」。ゲームや歌、日常会話などを通して児童が英語に楽しく触れ、外国の生活や文化などに慣れ親しむ「国際理解活動」。自分自身を見つめる「いのちの学習」を絡ませなが、子どもの意欲を引き出したい。学ぶことの楽しみや手応えを味わうことによつて、他の教科や活動にも、よい影響が出ることを期待する。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業指定校
南巨摩郡	万沢小	「基礎的学力」とは何か、を求めて	①算数科の授業の中での基礎的学力とは何かを明らかにする。②行事の充実をはかり、地域とのつながりを深める。	行事に関わつては、「学芸会」での劇発表の取り組み(創作等)、地域との関わりについては、学校開放日の設定、地域に学ぶ集会の開催、各種便りの発行を充実させる。教科は、算数。授業実践による研究と算数の指導内容の整理、実践における検討、一人ひとりについての「算数カルテ」づくりに向けた研究を行う。	
南巨摩郡	原小	豊かな心を持ち、自立を目指す子どもの育成	基礎基本の定着化、「生活科」「総合的な学習の時間」と道徳教育の創造	本校の目指す子ども像を具現化するものとして、三点について研究を進めることとした。一つは、「生活科」「総合的な学習の時間」の関連性を視野に入れた実践『地域からの学習』と『ものづくり』を通した指導・学びと評価の一体化への取り組み。二つ目は、児童の実態を把握した基礎学力の定着化への方途を探ること。三つ目は、地域・家庭と連携した道徳教育(道徳教育推進事業指定)の充実である。	(県)地域と共にはぐくむ豊かな心の育成推進事業指定校 11月21日
南巨摩郡	睦合小	生きてはたらく言葉の力を育てる国語教育		国語力を全人的な人間形成のための大きな要因ととらえ、学校教育全体で向上を図る。具体的には、「伝えあう力の具体化」「新しい評価観」「総合的横断的な単元構想」「言語活動の活性化」等が研究内容。	心をたがやらず国語力向上推進事業
南巨摩郡	鵜沢小	心豊かに、たくましく生きる力を育てる教育の創造	コミュニケーション能力を高める指導を通して	コミュニケーション能力を獲得できにくい状況が、家庭環境・社会環境・自然環境を見ても深刻な状況にあり、それが子どもたちの心の育ちに大きな影響を与えている。そこで、コミュニケーション能力を高める手だてを取り入れた教科・道徳・特別活動の指導のあり方を研究していくこととした。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
南巨摩郡	増穂南小	主体的に活動し、夢をもって学びを広げる生活科・総合的な学習の時間の創造	課題を深化させるための工夫や支援のあり方	総合的な学習の時間において、単元全体を通して課題をより深化させていくことができるよう、一人ひとりの子どもに寄り添う授業の工夫や支援のあり方を研究し、授業実践を行う。また、総合的な時間の創設の趣旨やねらい、つけたい力を再確認し、「総合的な学習の全体計画」、「年間指導計画」を作成する。	
南巨摩郡	五開小	夢を育む「生活科」と「総合的な学習の時間」の充実	教科学習との関連の研究を通して	「生活科」と「総合的な学習の時間」と教科学習(特に国語科)との関連。「生活科」と「総合的な学習の時間」の効果的な指導と評価の方法。ねらいを達成するための「生活科」と「総合的な学習の時間」の単元設定。各教科の発展的学習の取り扱いの洗い出し。	
南巨摩郡	早川北小	自ら学び、行動する児童の育成をめざして	・各教科「評価規準」の有効活用から「自ら学ぶ力」の基礎基本を探る・たくましく生きるための健康や体力づくりの実践	3年間の継続研究により「生きる力」を育むことをめざした「総合的な学習の時間」については一定の成果を挙げることができた。一方、同時に課題も明らかとなった。それは自ら学び、考える力の裏づけとなる「基礎基本の徹底」である。本校では昨年度末、各教科の評価規準が完成した。今年度はその評価規準の具体的活用の年である。評価活動から各教科のねらいを明らかにする中で、「基礎基本」の徹底を図りたい。 また、今年度も引き続き、プール等を利用した体力づくりも取り組んでいきたい。	
韮崎市	韮崎北東小	英語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成	楽しく聞いたり話したりする英語活動を通して	進んでコミュニケーションしようとする態度を育成するために、特別活動・総合的な学習の時間の年間活動計画はどうあるべきかを明らかにし、その作成を行う。また、進んで英語でコミュニケーションしようとする態度を育成するために、英語を楽しく聞いたり話したりする活動の場を工夫についての研究を行う。	(県)レッツ・チャレンジ小学校英語活動推進事業
韮崎市	韮崎北西小	「生きる力」を育てる	家庭・地域と連携した心の教育を通して	「地域とともに育む豊かな心の育成推進事業」のなかで、「心に元気を育む道徳教育推進事業」の指定を県教育委員会より受けた。そこで、心の教育のかなめとなる道徳の時間の中で、児童・保護者・教師に内容項目と関わっての実態調査を実施し、その分析結果により浮き出てきた課題を解決するための道徳の授業を実施し検証する。	(県)地域とともに育む豊かな心の育成推進事業指定校 12月7日
韮崎市	甘利小	意欲を持ち、主体的に学習に取り組む子どもの育成	一人ひとりが学ぶ楽しさを実感できる学習指導の工夫と改善(算数科を通して)	算数科における指導と評価の一体化と生活の中へ生かすことができるような教材教具の工夫を通して、分かる算数、楽しい算数を目指していく。	学力向上フロンティアスクール指定校10月29日
韮崎市	穂坂小	自ら学ぶ児童の育成	自己決定力を育む総合的な学習の評価のあり方	総合的な学習において、学習環境を整え子どもの実態に合った共通体験を設定したならば、そこから児童は個々の課題を見つけて学習を深めていくことができるのではないかと仮説のもとで実践を行った。	(県)環境教育推進事業指定校・公開はなし
韮崎市	韮崎小	いきいきと自ら学ぶ子どもの育成	基礎・基本の定着を図る指導法についての研究	いきいきと自ら学ぶ子どもを育成するために、子どもたちに基礎・基本の定着を図ることができるようにする。そのために各教科における基礎・基本の力を明らかにする。また、子どもたちの実態を把握し、教師の指導力を高め、指導の工夫を行っていきたい。	
北巨摩郡	武川小	児童の自ら学ぶ意欲や態度の育成を目指した指導実践の研究	総合的な学習の時間及び生活科を通して	総合的な学習の時間や生活科の学習において、地域教材に関連した学習内容を中心に各教科・道徳及び特別活動で身につけた知識や技能等を相互に関連づけた教育課程を編成し、体験的・課題解決的な学習を工夫して展開したり、効果的な評価のあり方を追究していく。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業10月8日
北巨摩郡	双葉西小	主体的・創造的に考える子どもの育成	算数科における確かな学力を育む指導を通して	算数科における基礎基本の習熟と定着の指導を通して、自ら学び自ら考える力の育成を目標に、子どもたちの分かったという声をより多く引き出し、学ぶ楽しさや自信を引き出すような指導のあり方やその習熟のあり方を、本校算数科研究の初年度として、理論と実践を通して探りたい。	
北巨摩郡	双葉東小	生き生きと自ら学ぶ子どもの育成	基礎・基本を重点とした指導法の研究	1. 児童対象の読み・書き・計算実態調査(含む学力検査)実施と分析 2. 基礎基本(読み書き計算)を身につけさせるための指導法の研究 3. 普段からの国語・算数の授業実践と研究授業の実施	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
北巨摩郡	秋田小	よく学び考える児童の育成	身につけさせたい基礎学力を子どもたちの学びに添いながら指導援助する研究	算数科「数と計算」領域において、すべての児童に身につけさせたい基礎学力の明確化を図り、子どもたちがどんな学び方をしているのか分析し、適切な指導助言の工夫に努めることで、基礎基本をしっかりと理解した、よく学び考える児童の育成につなげたい。	長坂町教育振興会指定、基礎学力向上やまなしプラン推進事業、
北巨摩郡	小泉小	心豊かな児童の育成	一人一人が進んで伝え合う学習をめざして	道徳の時間において、子ども達一人一人が進んで自分の考えを出し、また友達のを聞き、お互いに心揺さぶる話し合い活動が展開できるように研究を進める。そのために、発達段階にあった発表の仕方・話の聞き方・話し合いの仕方などを身につけさせたり、自己表現することの楽しさを味わわせたりする手だてを工夫していく。	
北巨摩郡	日野春小	豊かな心を持ち、主体的に考え、実践する子どもの育成	生きる力を育む授業をめざして	算数科における基礎・基本を明確にして共通理解を深め、そこで明らかにされた基礎・基本を確実に児童に身につけさせるための学習指導方法を工夫していく。本年度の目標として、「問題解決的な学習課程の中に、子どもたちの豊かな考えをつくり出させる場を設定し、学習を支える評価活動を取り入れることにより、主体的に考え実践する子が育つだろう」と考え、研究を進める。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育指定校10月20日
北巨摩郡	長坂小	よりよく生きようとする力を育む学校づくり	家庭や地域社会との連携を図りながら	子ども達の道徳性の実態をつかみながら、各ブロックごとに道徳の授業を工夫して、道徳的なものの見方や考え方を身につけさせる。他教科・他領域との関連を図りながら、道徳の授業を工夫しよりよく生きる力を育む子どもを育てる。道徳の授業を地域や家庭に公開することにより、家庭や地域社会との連携を図る。	
北巨摩郡	泉小	自分の思いや考えを伝え合う力を育てるために	国語力向上を目指した国語科「話すこと・聞くこと」の指導を中心として	1 国語力向上に向けた国語科「話すこと・聞くこと」の指導の工夫の研究 (5つの言語意識を大切にしてい伝え合う言語活動の具現化) 2 国語力向上を支える基礎・基本および言語環境についての研究(読書活動・ことばのきそタイム・言語環境・家庭地域との連携)	心をたがやらず国語力向上推進事業
北巨摩郡	白州小	豊かな表現力を持った児童の育成	国語科の「話すこと・聞くこと」の指導を通して	教育活動全般において、確かな表現力を持つ児童を育成するために、国語科の「話すこと・聞くこと」の学習の充実を図る。また、学校生活全体の中で確かな表現力を育成するための理論研究や実践を進めていく。	
北巨摩郡	明野小	「話すこと・聞くこと」の力を育てる指導と評価に関する研究	ルーブリックによる国語科の授業改善とカリキュラムの作成をとおして	「これからの時代に求められる国語力」を視野に入れ、学校教育全体をとおして「話すこと・聞くこと」の力を育てるカリキュラムを作成する。また、国語科の授業を中心に、ルーブリックを活用し、自己評価能力の育成と個に応じた指導の充実に努め基礎・基本の確実な定着を図る。	ふれあい福祉・ボランティア活動推進事業
北巨摩郡	増富小	自ら学ぶ子どもの育成	算数科における基礎・基本の定着を目指す学習指導のあり方	研究仮説「算数科の学習過程に思考を深める場面を設定し、多様な思考をさせることにより、子ども達は意欲的、主体的に学ぶとともに、基礎基本の定着が図れるであろう」を検証するために、昨年度に引き続き、担任全員が各学年で最も重要だと思われる単元について深く研究し、『最重要単元』として1単元全時間の指導案を作成し、全員で内容検討したのち授業公開をする(2学期)。今年度は昨年度の反省に挙げられていた、評価についても理論研究を深め、ルーブリック評価表を作成し評価の充実を図る。また、1学期の単元の中から『重要単元』をひとつ選び全時間の略案(毎時間の目標・中心課題・最重要発問が書かれたもの)を作成し、全体で重要単元報告会・指導結果報告会を行い、研究を深めていく。	
北巨摩郡	須玉小	心豊かに、たくましく生きる子どもの共育	楽しい算数的活動を通して「確かな学び」を育てる授業の創造	昨年度からの継続研究として、算数科を取り上げ、「基礎基本を確実に身につける学習」に力点を移して心豊かにたくましく生きる子どもの育成をめざす。主体的な算数的活動を工夫し、算数的コミュニケーション能力(仮称)を高めることを重点に取り上げ研究していく。コミュニケーションに関わるめざす児童像を設定し、その手だてを検証する研究としたい。	
北巨摩郡	高根西小	自ら学ぶ児童の育成	考えや思いを伝えあう活動を通して	話し合いや発表会など、児童が相互に考えや思いを伝えあう場面に注目し、児童が意欲的に活動するための、支援方法などについての研究を進めていく。実際に考えられる具体的な場面として、国語科や社会科、また総合的な学習における学習発表会が考えられる。また本年度指定を受けた「レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業」に関わって、英語活動における本校独自の指導カリキュラムの作成も行う。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業指定校
北巨摩郡	高根東小	自ら学び自ら考え行動する児童の育成	問題解決に向けての学びの場の創造を通して	すべての教育活動において、問題解決に向けての学びの場を創造し、適切な指導・援助を行うことで、自ら学び自ら考え行動する児童の育成につながることを明らかにする。	
北巨摩郡	高根清里小	一人ひとりの基礎学力を向上させる学習指導のあり方	読み・書き・計算の指導を通して	読み・書き・計算の学習指導を充実させ、学力の基礎を鍛えることに重点を置いて研究を進めていくことが確認された。基礎学力を、「読む力」「書く力」「計算する力」ととらえ、それらを確実に身につけるための学習指導の方法を探り、実践することで基礎学力の向上を図っていく。教科は国語、算数とし、授業時間の中で、いかに前述の力をつけていくかがポイントとなる。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
北巨摩郡	高根北小	自ら学び、生き生きと活動する児童の育成	「伝え合う力」の向上をめざして	今年度は研究対象の教科を国語、領域を評価規準の「関心・意欲・態度」「話す・聞く」に関わって(伝え合う力)として研究を進める。子どもたちからアンケートを取って学年ごとの傾向を見たり、教職員から見た子どもたちの様子等、現時点での児童の実態を把握する。それとともに、「話す・聞く」を観点とする国語の単元を洗い出し、学年間のつながりをつけるとともに研究授業を通して研究の実践を行っていく計画である。	
北巨摩郡	小淵沢小	主体的に学ぶ児童を育てる「生活科」「総合的な学習の時間」の指導・支援・評価に関する研究	地域のよさを生かした活動を通して	授業研究部会と、整備研究部会を中心に、児童が主体的に活動するための「生活科」「総合的な学習の時間」のスタイルをつくる。具体的には、『支援・指導・評価の基本全体構想』を基に学年毎の『カリキュラム構想表』の見直しをし、活動案を作成することと、地域素材の洗い出しと分類をすることなどである。	
富士吉田市	富士小	児童の生きる力の育成を目指して	国語科「読むこと」の指導を通して	国語科「読むこと」の指導法を研究し、子どもたちに的確に読みとる力を育て、読むことへの関心を高めさせることをめざす。理論研究後、授業研究、授業実践を行う。また、読書活動の充実を図る。	
富士吉田市	下吉田第一小	明るく心豊かな子どもの育成	ひらきみがき育む国語科の授業	読書と関わらせた「読むこと」領域を中心に据えた授業の実践を、研究のねらいとした。手だてとして、読書環境を整え、児童に抱負など読書体験を積ませる。このことで児童の内発的な読書意欲を喚起し、さらに読書に親しむ子どもが育つと考える。手だての2点目は、学習活動の創意と工夫を図ることである。意図的に読むことに取り組みさせる体験を通して、読むことの楽しさを味わい、読み方自体を学ばせたい。手だての3点目として、読みにおける見取りの方法を開発し、目標に照らし合わせた適切な見取りを行い、児童がより主体的に学習に取り組み、基礎・基本的な内容を身に付けることを目指している。	
富士吉田市	明見小	「生きる力」を育む国語科の指導法と評価の研究	「話す・聞く・書く・読む」の基礎・基本の指導と評価研究を通して	本年度は、生きる力の向上に不可欠な国語力の向上をめざし、研究を行う。研究に際しては、まず改訂された指導要領により示された3領域「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」の基礎・基本を職員全員で学び、共通理解を図る。また児童の実態を把握するために全校アンケートを実施する。共通理解したことと児童の実態に基づき各学年一実践の授業提案を行う。	
富士吉田市	下吉田第二小	生きる力を育む学習活動の創造	国語科「書くこと」の指導法の工夫を通して	「生きる力を育む基礎・基本の充実」に視点を当てて研究を進めていく。昨年度同様、全ての教科の基礎・基本となる国語科の「書くこと」の領域で行い、特にその中で、「必要な情報を収集して書きまとめること」という部分に焦点を絞り、「相手にわかりやすい文章」をめざし、理論研究・授業研究を進めていく。その際、各学年で実態・発達段階等をふまえながら、仮説を立てて、授業実践を通し検証していく。今年度も必ず一人一実践をする。	
富士吉田市	下吉田東小	生きる力を育む学習活動の創造	国語科の基礎学力の向上をめざして	国語科における基礎・基本の力を高めていくために、「話すこと・聞くこと」の活動を工夫していく。本校児童につけさせたい国語の基礎的・基本的な力について、児童の実態を考慮しながら検討し、それを身につけさせるための手だてを研究し、実践していく。	
富士吉田市	吉田西小	児童の「生きる力」の育成をめざして	「確かな学力」の定着を図る基礎基本を中心とした授業づくりの工夫を通して	各教科の学習課程において、各学年の実態に応じた授業づくりを工夫することによって、基礎基本が身に付き自らの考えをもち進んで課題を解決できる子どもが育つであろう。という仮説のもとに特に「確かな学力」をめざした内容を研究する。そして、次の三つについて①学ぶ意欲②問題解決能力③知識や技能を特に重点とした。	
富士吉田市	吉田小	自ら学び、考え、「生きる力」を獲得する児童の育成	考える力を育てるための、指導と評価の一体化を図る算数科の授業づくり	昨年度の研究を引き継ぎ、学校教育目標・今日的教育課題・吉田小の現状から研究テーマを決めた。主題に迫るのに多様な学習活動、指導、評価等をくり広げながら児童の実態に即した学習環境を設定できる教科として算数が適していると思われる。算数的な活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、見通しを持ち筋道立てて考えれば、自分の考えを持ち、楽しく意欲的に学習に取り組む子が育成されるであろう。そして、これまでの研究の成果である評価規準表を拠り所として、指導と評価の一体化を図り、よりよい授業づくりを行う。各ブロックごとに仮説を立て、3つの授業実践を行い検証をする。そのほか3つの	
都留市	禾生第一小	確かな学力を身に付け、主体的・創造的に生きる児童の育成	確かな学力をはぐむための少人数学習における効果的な評価のあり方	今年度のポイントは評価と指導の一体化である。昨年度までの課題として少人数に分かれた段階での評価が次の指導に生かされない、子ども達の自己評価の高まりが少ないといった点があげられた。本校の評価基準の見直し改善を進め、評価の充実を少人数学習のなかで図っていきたい。指導と評価の一体化を目指し、従来の指導方法の工夫、並びに個に応じた教材の開発も同時に行いながらより効果的な評価方法を追求していく考えである。	(文科省)学力向上フロンティアスクール研究指定校10月
都留市	宝小	自ら学ぶ子どもの育成	算数科における基礎・基本の定着を図る指導と評価	①「基礎・基本」「評価」「効果的な支援のあり方」について、文献から学び、理論研究をする。指導主事に指導していただく。②算数科について、前年度学年の学力調査を行い児童の実態をつかむ。③算数科について、評価規準を設定し、基準を作成する。④基礎・基本の定着を目指した授業実践を行う。⑤先進校への視察・学習	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
都留市	東桂小	自ら学ぶ子どもの育成	基礎・基本を身につけさせる、指導と評価を一体化した授業づくり	昨年度は、「自ら学ぶ子どもの育成」をテーマにして、評価の理論研究をしたり、評価規準表の作成をしたりした。本年度は、昨年度の継続研究を一步進めて、課題であった「授業実践」を通して、評価規準表の検証を行う。具体的には、基礎・基本の定着を図る授業づくりを行い、各学年一実践とし、放課後学習チューターの活用も取り込んで主題「自ら学ぶ子どもの育成」に迫る。教科は後日決定する。	放課後学習チューター
都留市	旭小	『心豊かに生きる力』を獲得させるための教育課程の創造	教育評価から見た指導法の研究	教育評価の観点から、教師の指導方法を見直す。基礎基本の確実な習得を図り、子どもたちに『心豊かな生きる力』を身につけさせる。評価の理論研究をし本校なりの評価規準表を作成する。	
都留市	谷村第二小	「勉強って楽しい！」「もっと勉強したい！」子どもたちの喜びの声が聞こえる授業の創造	基礎・基本を大切に算数科の学習を通して	研究のはじめに算数科の前学年の到達度テストを行う。(2年～6年)その結果を受けて、目の前にいる子ども達の伸ばしていきたい力をとらえる。低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロックに分かれ、研究を続ける。各ブロックで伸ばしていきたい領域・単元・観点について話し合い、進めていく。話し合われた領域・単元・観点について、全体会で確認をしていく。各ブロックごとで、授業実践を行う。各ブロック1つは研究授業、後1つは提案授業という形をとる。目の前にいる子どもたちに必要な「基礎・基本」を大切に、楽しくわかる授業創造・実践することにより、わかる喜び、学ぶ意欲を持った子どもたちが育つであろう、という仮説を立て、一年間取り組んでいきたい。また、特別支援教育についても研究を深めていきたい。	
都留市	谷村第一小	算数科における基礎・基本を定着させる指導法の研究(2年次)	児童一人ひとりの習熟の程度に応じた指導法	「個に応じた指導の一層の充実」を図るため、算数科の学習指導において、学力テストで計測可能な学力検査をした結果絞り込まれた単元のある段階に標準をあて、実施可能な指導体制によって、習熟の程度に応じた、限定的かつ重点的な指導のあり方について研究する。	
都留市	禾生第二小	自ら学ぶ児童の育成をめざして	基礎・基本の定着を図る指導と一体化した評価	本校では、すでに絶対評価を取り入れ、評価を行ってきたが、教師自らが、「誰のため」「何のため」に評価するのかと考えることから、見つめ直していく必要があると考える。本校の児童に、確かな学力を身につけさせ、新しい学校づくりという観点から評価について研究を進め、教師の意識改革を図り、基礎・基本の定着を図る指導と一体化した評価法の工夫・改善に取り組むことで、自ら学ぶ児童の育成にせまらばと考える。	
都留市	都留文科大学附属小	基礎基本の定着を図る学習指導の工夫	自ら考え、進んで算数の学習に取り組む児童の育成を目指して	算数科の「数と計算領域」において、1. 本校の児童に身につけさせたい基礎基本の力の共通理解を図る。2. 学習内容の系統表(単元のポイントのつながり)単元の中の押さえておきたいポイントについての確認をする。3. 算数科の全国標準診断学力検査(NRT)やレディネス問題などを実施し、「数と計算領域」において落ち込みの見られる学習内容の指導法の重点的な工夫・改善を図る。4. 指導計画の実践・修正に伴い、学習意欲を持たせるような評価、学習や指導の改善に役立つ評価規準の見直しを図る。5. 個に応じた指導の一環としての系統だった継続的な指導の工夫を行う。6. 附属小として、大学との連携を図	
南都留郡	勝山小	自ら学ぶ児童の育成	「聞くこと・話すこと」の指導に重点を置いて伝えあう力を育て	伝えあう力を育てるために、国語科の「聞くこと・話すこと」の言語活動の指導において、児童の実態、つまり評価規準に照らし合わせて浮かび上がった「聞くこと・話すこと」の落ち込んでいる部分を伸ばすための授業づくりを行う	
南都留郡	秋山小	自ら取り組む子どもの育成	業間体育と健康教育の取り組みを通して	運動する機会の少ない子どもたちの実態をうけ、今年度は「業間体育」と「健康教育」という2つの面から健康な生活への意欲と関心を高め、進んで健康づくりに取り組める児童の育成めざす。「業間体育」では、学年ごとに種目を選び活動計画を作り、実践しながら修正していく。「健康教育」では、教科(保健・家庭科など)や特別活動などで養護教諭・栄養職員とのT、Tを活用し、健康な生活への意欲や関心を高める。	
南都留郡	道志小	業前時間の活用による基礎学力向上を目指した指導法の研究	漢字及び作文指導などを通して	七里っこタイムと名付けた業前の時間を活用し、児童の基礎学力の向上を目指した研究を進めている。基礎学力を児童が自主的に学習を進める上で特に重要と考えられる事項と捉え、漢字、作文、読書、体力作りについて内容を絞って取り組むことにした。一週間の内、曜日単位で各内容を指導することになっている。今年度は、昨年度、主として研究してきた漢字指導を発展させ、作文力をつける指導に焦点を当てている。	(県)心に元気を育む道徳教育推進事業指定校(保護者の対象の公開11月7日)
南都留郡	忍野小	「豊かな人間性と限りなき可能性を追究する忍野の子の育成」	子どもの学びを大切に個に応じた授業の工夫と評価規準の確立	(1)算数科における指導体制・形態の工夫改善(少人数学習・習熟度別学習など) (2)算数科における指導方法の工夫や教材開発 (3)評価規準に関する研究と評価規準表の作成(本年度は国算理社の4教科)	
南都留郡	船津小	生きる力をはぐくむ学習指導の創造	『考える力』につながる基礎・基本を求めて	『考える力』につながる基礎・基本を明らかにし、両者のつながりを意識しながら授業や生活の中で意図的・継続的に仕組んでいく。国語科を軸として、『読むこと』に中心をおいて研究していく。	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
南都留郡	鳴沢小	自ら学び、自ら考え、表現する児童の育成	より豊かな表現力を培うために	音声言語による豊かな言語生活、表現力を高めるために、場の設定・音声言語能力の育成・民主的な集団作りを意図した言語活動を、授業だけでなく日々の教育活動の中で仕組み主題に迫る。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
南都留郡	小立小	子どもたちの基礎学力を向上させるための研究	国語科の「読むこと」の指導を通して	昨年度、同主題のもと計算力を伸ばす取り組みを行った。その取り組みの継続をしつつも、偏ることなく、視点を変えて基礎学力の向上を図りたいと考えた。そこで、本年度は、県教育目標の重点事項にもあげられる、「学びの基礎となる国語力の向上」を目指し、国語科の「読むこと」の指導を中心に研究を進めていきたいと思う。	
南都留郡	山中小	自ら学び、心豊かに生きる子どもの育成	自己表現力をみがき、伝え合う力を育てる指導を通して	本研究では、人と人とのコミュニケーションに不可欠な音声言語能力＝「自己表現力」をみがき、互いに認め合い通じ合っていくとする力＝「伝え合う力」の育成を目指す。その能力をどう育てどう発展させるか、国語科を通して基本理論と実践について研究する。さらには、あらゆる学習活動への発展、学習意欲を喚起する評価研究にも取り組む。	
南都留郡	東小	表現力豊かな子どもの育成	自分の考えをのびのびと表現する授業を通して	各教科・特別活動の授業の中で、自分の考えをのびのびと表現できる、表現力豊かな子どもを育成するために、1. アンケートにより児童の実態を把握する。2. 実態から各学年ごとめざす子ども像を明確にすると同時に、国語科を中心とした「話すこと・聞くこと」に関する年間指導計画を作成する。3. 豊かな表現力を育むための理論学習を行い、共通理解のもと、研究授業を行う。	
南都留郡	大嵐小	自ら考え 自ら実践できる大嵐っ子の育成	豊かな表現力の育成をめざした授業の創造	学習指導要領の国語科のねらいについての再度確認をし、現行使用の教材の意図とその問題点を洗い出し、より児童にとってわかりやすい国語の授業を創り出す。そのための第一歩として教材分析のあり方の研究を行い、実際に教材分析を生かした読み取りの授業を行い検証を試みる。	
南都留郡	西浜小	心豊かで生き生きと主体的に活動する子どもの育成	子どもの思いを大事にした国語の授業の工夫	「国語科の学習において、子どもの内面を洞察し子どもの思いを大事にした実践を創意工夫することによって、子どもたちは生き生きと主体的に活動し、豊かな心を育むであろう。」という仮説のもとに研究を進める。「子どもの思いを大事にする授業」について文献資料で学習したり、国語の授業について指導主事を招聘し学習する。授業研究は、低学年と高学年の2ブロックでして、研究授業をし研究会を持つ。	
南都留郡	西桂小	豊かな人間性が育つ国語教育の研究	「読むこと」の指導と「読書活動」を継続的に行うことを通して	①大石市立国語科教育推進事業「読むこと」に関する研究と実践②本校の国語科の実態把握③「読むこと」に関する研究と実践④「読むこと」に関する研究と実践⑤「読書活動」に関する研究と実践⑥家庭・地域との連携をどう進めるか⑦習得した国語力を、学校の教育活動全体を通してさらに伸ばさせる実践をどう進めるか	(県)心をたがやす国語力向上推進事業
南都留郡	大石小	自ら学び、自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成	国語科を通して、伝えあう力を育てる指導方法の工夫	①国語科における基礎的基本的な学力、及び「話すこと・聞くこと」の領域についての基礎的基本的な学力とは何かを明確にする。②「話す・聞く」活動に関わっての児童実態の把握。③「話す・聞く」活動の、各学年の単元の洗い出し、及びその単元で身につけさせたい力を明確にする。④「話す・聞く」活動に関わって、基礎的基本的な力を育てていくための指導方法の工夫について研究し、授業実践を行う。	
南都留郡	河口小	自らの生き方をきりひらく子の育成	「人・もの・こと」とのかかわりを生かした「みつめる学習」	本校では、子どもたちが生活している家庭や地域に学習課題を求め、「人・もの・こと」の視点で自らの生活を見つめ、課題を見つけ、解決し、次の学習や生活に生かせるような学習を「生活を見つめる学習」として構想した。今年度は、学習の視点としての「人・もの・こと」とのかかわりや振り返りを大切に学習過程を生かして、主体的に学ぶことのできる授業のあり方を教科等の枠を広げただ中で追求していく。	
大月市	猿橋小	しなやかに学ぶ子どもの育成	位置づけた子を手がかりとした授業を通して	問題解決学習を軸とした国語・社会等の教科において、子どもの思いや願いに寄り添った児童理解を手がかりとしての授業実践及び授業検証	
大月市	鳥沢小	地域の人々とのふれあいの中で、豊かな人間性を育て、道徳的価値を身に付けた実践的活動のできる児童の育成		(1)教科・道徳・特別活動および総合的な学習の時間の関連を図り、道徳的価値の自覚とその実践力を育成する。(2)地域の人を講師として招いた授業の効果的な展開について研究し、児童の道徳性を養う。(3)地域社会での活動を通して、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を養う。	(国)児童生徒の心に響く道徳教育推進事業
大月市	上和田小	「自ら考え、自ら学ぶ児童の育成」	～伝える力を高めるための指導法～	今年度は「伝え合う力」のおおもととなる、「伝える力」に重点を置き、取り組んでいきたい。各教科での指導のみならず、学校における教育活動全体を通して「話す」活動を行い、「伝える力」を育てていけるように支援していきたい。その中で、昨年度と同様、スピーチ活動における「書く活動」に重点を置き、スピーチをするのにより効果的なメモの作成の研究を行っていく。子ども達が、授業や学校教育活動のなかで、主体的に「話す」活動を行い、「伝える力」を育てていけるように支援していきたい。	
大月市	下和田小	心躍り、瞳輝き、その子らしさが生きる授業の創造	確かな学力の定着を目指して	学びをつなぐ力が大事であると考え、国語力の育成を重点課題として設定した。自ら学ぶ自ら考え、解決に向けて手を動かす意欲や学び続ける習慣をつけることや、そのような学習が成立するような魅力ある授業の開発を行う。指導と評価をつなぐ下和田学びプランの改訂とともに、国語力の生きる、あるいは国語力をはぐくむ授業として、問題解決学習を軸に学習指導の方法について研究していく。	(国)学力向上フロンティアスクール1月26日

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
大月市	畑倉小	認めあい 高め あい ともに生 きる子どもをめ ざして	性に関する学習 を通して	国のエイズ教育(性教育)の推進指定地域になり3年目である。近年の若年齢での望まない妊娠や性感染症の増加を考えると、小学校の段階からしっかりと性について学び、命の大切さを学び、自分も相手も大切にできる能力を育てていく必要があると感じる。そこで、性に関する学習についての基本的考え方を確認し、年間指導計画を見直しながら、授業実践し、効果的な学習方法を探っていく。そのことによって、自他を大切にしながら協力し合って生きていこうとする子どもの育成が	(国)エイズ 教育(性教 育)
大月市	浅利小	自ら考え活動す る児童の育成	認め合い、支え 合う児童をめざ して	「性教育」に研究内容を限定する。(1)性教育に関する研究授業(2)保健集会などの実践(3)地域ふれあい公開授業を中心とした啓発活動	エイズ教育 (性教育)推 進地域事業
大月市	初狩小	学ぶ楽しさを実 感できる授業の 創造	国語科「読み」 の指導方法の 工夫を通して	昨年度からの研究を受け、本年度においても国語の研究を行う。国語科の中でも「読み」の指導方法について取り上げる。深い読み、確かな読み、正しい読み、豊かな読みを目指し、そのための指導方法について学んでいく。低学年、高学年ブロックの2つに分かれ、2つのブロックの協力体制のもと、一人一授業の提供をする。	
大月市	梁川小	学び合い、支え 合い、響き合う 「やながわの 子」を育てる	個々のつなが り・学び合いを 大切に学習活 動の工夫を	教科研究では、考えを伝え合い、学びを深めていく子どもをめざし、対話のある授業プロセスのための学習過程の工夫、教師の姿勢について研究し、算数の授業実践の中で検討していく。道徳・特別活動部会では、他とふれあいつながり合う人間関係作りのための実践を行う。心情面の育成、構成的グループエンカウンターなどの研究・実践を通しての人間関係作りなどを通して個々の児童の心の育成と学級集団としてのよりよい人間関係を育てたい。	
大月市	七保小	意欲的・主体的 に取り組む児童 の育成	生きる力を育む 聞く・話す力の 育成	国語の教科のみではなく、日常生活全て、全教科にわたり、常に聞くこと、話すことを意識させていきたい。児童の実態、地域の特性を生かした授業実践・検証を行う中で「聞く」「話す」力を身につけさせていきたい。それが生きる力となり、「意欲的・主体的に学ぶ児童の育成」につながるものと考え。	
大月市	大月東小	主体的に学び、 生き生きと活動 する子どもの育 成		児童の発達段階や実態を的確にとらえ、「確かな学力」を身につけさせるための授業づくりを工夫するために、「確かな学力」「基礎基本」についての理論研究や授業研究を行う。また、人間尊重や男女平等の精神を育てるための授業づくりを工夫するために、性教育の基本的な考え方について理論研究をし、授業を行う。	(国)エイズ 教育(性教 育)推進地 域事業
大月市	笹子小	確かな学力の 向上をめざして	基礎・基本を充 実させるための 支援	国語科・算数科において基礎・基本を充実させるために、1時間ごとの評価基準を明記した授業案を作成し、適切に評価活動を行う。さらに1単位時間での評価回数をしぼり、厳選した指導評価を行い、その評価結果を生かした個に応じた指導として努力を要する児童への支援を中心に研究を進める。また、今年度は概ね満足できた児童や充分満足できた児童への指導方法	
大月市	大月西小	自ら考え、実践 する子どもの育 成	一人一人の生 きる力を高める 性教育の実践 を通して	本校の年間保健指導全体計画を見直すなかで、性教育領域の指導計画を作成し、全学年で授業実践を行う。全人間教育としての性教育の領域について、各教科、学級活動、道徳の各領域での教育実践をしていく。養護教諭との連携による効果的な指導の工夫についても考えていく。地域への啓蒙から授業参観で全学年が、性教育に関わる授業を行う。11月には、研究授業の公開を行う予定。また、講師を招いての、エイズ教育に関する職員の研修会を行う。	(大月市)エイズ 教育(性教 育)推進地域 指定校11月中 旬
大月市	強瀬小	教師と子どもで つくる授業づくり	個人でテーマを たてる	教師と子どもたち、子ども同士の中に(学級に)、「聴き合う」関係を作り出すための教師の働きかけ(教材、教師のまなざしや言葉、授業の展開など)	
大月市	瀬戸小	表現力・思考力 を育てる授業の 創造	算数科の授業 実践を通して	児童の実態で課題であるのは「自分の気持ちや考えを伝える力が弱い・言われてからやる受け身型の子どもの多い・大きな集団の中では萎縮する」ことである。算数科の授業研究を通して自分の考えを表現する力を育てる学習指導について追究する。具体的には、算数科の基礎基本を明らかにし、「表現力・思考力を育てる授業」の手だてを共通認識し、問題解決授業の“表現する場面”を重視した授業を行い、児童の学習観を変容させていく。	
大月市	宮谷小	自ら学ぶ子ども の育成		国語「基礎・基本の充実に向けて」実態調査を行い、1年間の国語科指導の展望を持ち、研究授業を通して分析していく。	
北都留郡	丹波小	自ら学び意欲的 に活動する児童 の育成をめざし て	思考力・表現力 を伸ばす指導と 評価の一体化	①少人数集団に応じた支援・評価についての研究②使用しやすく、体系的・継続的な評価ができる評価表等の開発③国語・算数の授業のあり方	
北都留郡	四方津小	自ら学び自ら考 える児童の育成	伝え合う力を育 てる指導を通し て	昨年度までの国語領域の研究を中核とし、伝え合う力を育てる活動を教育活動全体の中に位置づけ実践研究を行う。アンケートによって児童の実態を把握し、個に応じた指導や評価活動を行う。また、昨年度作成した話すこと・聞くことの年間指導計画を見直し、付加・修正を行う。	
北都留郡	西原小	自分を表現し、 他との関わりを 大切にする子ど もの育成	評価を生かした 主体的な学習 活動の展開と指 導の工夫 2年 次	教科、総合など学校の活動全般に渡り、評価と指導・支援の一体化について継続研究をしていく。活動において具体的な評価基準(観点)を作成して、それを児童と教師が共有して評価を行い、児童は次の活動へのヒントにし、教師は指導・支援に生かすという部分を実践研究していく。	
北都留郡	桐原小	自ら学び、生き 生きと活動する 児童の育成	学習意欲を高 める授業の工 夫	「確かな学力」を付けるためには、児童が受け身であったり教師主導の学習では身につけにくい。児童は、「分かるようになりたい」「できるようになりたい」という欲求をもっている。そこで、各教科で「分かる楽しさ」「できる喜び」「関わるうれしさ」「活用する喜び」などを味わわせることのできる授業の工夫を研究していく。	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
北都留郡	沢松小	自分の思いや考えを表現できる児童の育成	国語科「話すこと」の学習活動を通して	「話す力」を育成するのに、一番中核となるのが国語科での指導であると考え。そこで国語科の「話すこと」の学習活動を通して、実践研究を取り入れて研究をしていく。	
北都留郡	島田小	自ら学ぶ児童の育成をめざして	基礎基本を重視した授業の工夫	・国語科を通して、各単元ごとに「基礎・基本」の明確化をした指導を行う。・児童の実態をもとにした音読指導を通して表現力を高める。・教育活動全体で表現力を高める場面を洗い出す。・表現力を発達段階ごとにどう育てればよいのか明確にしていこう。	
北都留郡	大鶴小	進んで学び、考える児童の育成	国語力を高め表現する力を伸ばす音読指導の工夫	本校ではここ数年「進んで学び、考える児童の育成」を研究主題に据え、児童が国語力を高め表現することを目指し音読朗読を取り入れた学習活動の中で主体的に取り組む児童の姿を検証してきた。本年度はさらに研究を継続し、指導法の工夫や改善などの取り組みを通して、理解や思考、表現などすべての学力の基礎となる国語力を高めていきたいと考えている。	
北都留郡	大目小	生き生きと学習する児童の育成	国語・算数科の基礎基本の定着を目指して	標準学力検査の結果を基に、本校児童に定着不十分な基礎基本を洗い出し、その力の定着を目指す研究を行う。基礎基本を定着させるために効果的な指導法の研究を行い、日々の実践を積んでいく。なお、教科は、国語・算数に限定して行う。	
北都留郡	上野原小	確かな学力を身につけさせる指導法の工夫	算数科を通して	昨年度の継続研究として、算数科における確かな学力を明確にし、学習形態・指導法について研究する。本年度は、特に専科制、TTのあり方についての研究を中心としていく。全学年が授業実践を行う中で児童の変容を検証していく。	
北都留郡	甲東小	意欲的に学ぶ児童の育成	国際理解教育の実践を通して	総合的な学習の時間及び特別活動の時間を中心に、異文化理解を進めるための手だてについての実践的研究。英語活動を通じたコミュニケーション能力を高めるための手だてについての実践的研究。	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
北都留郡	小菅小	自ら学び、自ら考える児童の育成をめざして	～学ぶ意欲を高める評価を通して～	意欲を高める評価についての理論研究(規準、方法、観点など)を行い、それに基づき、授業実践及び検証を行う。考えられる「意欲を高める評価」法として、相互評価、自己評価、一人ひとりのレベルにあわせた指導を行った後の教師の評価があるが、今年度はめざす子ども像をより子どもにも分かりやすく具現化していくことを目指し、授業実践を行い、研究していく。	
国立	山梨大学教育人間科学部附属中	内的な総合化をめざし、「さまざまなかかわり」を意識させる授業を創造する		学習事項や既習事項相互のかかわり＝関係性を意識させることで、学習者の内面で新たな知や感受等が再構成され、よりしっかりしたものとなることをねらっている。今年度はその成果を授業研究の手法で質的に見とり、まとめていきたいと考えている。	
甲府市	北東中	自ら学び、自己実現を目指す生徒の育成	個に応じた指導を通して	必修教科で、個に応じた指導・工夫の可能性をあげ、授業で実践していく。各教師、一人一実践以上を目指す。また昨年度作成した「具体的評価項目」に照らし、具体的評価項目および全体の評価方法を改善していく。公開授業を通して個に応じた指導や評価について吟味していく。また、総合的な学習の年間指導計画見直し、事例研究・学習会、を実施する。生徒理解のため	
甲府市	北西中	心豊かに	「評価」を考慮した授業の創造	新学習指導要領が実施されて、3年目を迎える。昨年度までにつくりあげた教育課程の検証をするとともに本年度は特に「授業」に力を入れて行く。研究の柱としては、「評価」を考慮した研究授業を全教師で実施して、いろいろな評価方法を学習していく予定である。	地域を育てる環境活動推進事業
甲府市	城南中	自ら意欲的に学ぶ生徒の育成	意欲が向上する評価のありかた	学力向上フロンティア事業を受けて2年目になります。昨年度は、意欲が向上する授業のありかたに着目して、全体で10の項目を設定し、授業研究を中心に研究をすすめてきた。本年度は昨年度の研究を継続研究する中で、評価に重点化し、意欲が向上する評価のありかたを研究している。	(県)学力向上フロンティア事業
甲府市	南中	学習や生活の課題に気づき、進んで解決しようとする生徒の育成	指導と評価の一体化を目指した授業研究を通して	各教科、基礎・基本の確実な定着のために学習指導要領や評価規準の内容を吟味し、段階的に読み取りながら学年ごとに整理していくこと、評価の妥当性を高めるために学習ガイダンスを作成し、授業実践を生かしながら学習指導の改善を進めていくことを具体的な研究内容とする。そして、評価規準の学習を深めること、指導と評価の一体化を目指した授業実践を行うこと、授業実践した内容を今後を生かすことを柱に研究を深めていく。	
甲府市	南西中	自ら学び、たくましく実践する心豊かな生徒の育成	指導と評価の一体化	教科研究部会では、基礎・基本と評価基準の適切性の検討、評価方法の研究・実践、学習過程の工夫と指導方法の研究を行い、学年研究部会では、道徳授業を中心とした「心に元気をはぐくむ」道徳実践活動について研究する。	心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
甲府市	北中	「確かな学力」と「豊かな心」の育成を目指して	自主活動の時間を通して言語能力の育成をはかる	平成15～16年度の2年間、「山梨県基礎学力向上やまなしプラン事業推進校」に指定された。昨年度は、各教科における基礎的な力をどう育てることが「確かな学力」と「豊かな心」の育成に結びつくかについて研究をすすめてきた。本年度は、「自主活動の時間」における個々の言語能力の向上を目指し、指導内容及び指導方法について研究を深めることを目的にテーマを設定した。また、昨年度に引き続き、生徒個々の特性を的確に把握する評価方法についても継続して研究していきたい。	基礎学力向上やまなしプラン推進事業11月1
甲府市	上条中	「主体的に考え判断し、行動する生徒の育成」	～学習の成果を振り返らせる自己評価の実施を通して～	①自己の学習の状況や成果を振り返らせる自己評価を全教科で実施し、学びを通しての自分自身の進歩や成長を感じ取らせ、学習の効力感を感じさせ、学びの意味を実感させながら学習に対する意識を高める。②生徒が記入したものに教科担任がごく簡単なコメントをかえしながら、自己評価の視点を高め、同時に励ましを行う。③自己評価の様式の工夫・改善を行い、より効果的で教科の特性に合ったものを確立させる。	学力向上フロンティア事業指定校11月12日

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
甲府市	東中	自ら考え、学び、行動する生徒の育成	わかる喜びを感じる授業づくりを通して	形成的評価を生かすことと、国語力向上を意識した授業実践を行うことにより、生徒がわかる喜びを獲得し、課題に取り組む意欲を高めることをねらいとした研究である。教科指導を中心とした研究である。	(県)心をはたかす国語力向上推進事業
甲府市	富竹中	自立できる力を持った生徒の育成	自己を振り返る活動に視点をあてた研究・実践を通して	前年度の研究の中で明らかにした「自立」の定義と「自立に必要な4つの力」(①基礎的な知識・技能、②ルール感覚、③他者との関係能力、④自己決定力)をつけさせる研究・実践を行う。実践にあたっては、「自己を振り返る活動」を必ず入れ、自己の状態を振り返りながら、足りない力をつけていくような取り組みにしている。	0
甲府市	西中	自ら学ぶ生徒の育成	基礎・基本の定着を通し確かな学力の向上を目指して	確かな学力を身に付け、自ら学ぶ生徒の育成を図るために授業研究、課外学習、学習意欲の認知的側面などの実践的研究を重ねていく。	学力向上フロンティア、11月17日公開
南アルプス市	八田中	地域教材をとおして環境問題について主体的に考え取り組むことのできる生徒の育成		八田中学校の周囲に広がる自然を生かし、蛍実態調査(生徒会本部主体)・八田地区環境調査(環境委員会主体)・地域清掃(各学年主体)などのアクション、道徳・学活の授業での環境教育の2本立の実践を予定している。	(県)地域を育てる環境活動推進事業指定校10月3日
南アルプス市	櫛形中	「生きる力」を育む特色ある学校づくりをめざして	一人ひとりが主体的に取り組める場の設定と評価の工夫	昨年度の実態調査から、本校の生徒に必要な力として「主体的に行動する力」が求められている。そこで教科・道徳・総合的な学習の時間において生徒が主体的に物事に取り組む場を数多く設定することとした。具体的には、教科においては主体的に学び考えることのできる授業、道徳においては表現活動や疑似体験等を取り入れた授業、総合的な学習の時間においては生徒が主体的に取り組むことのできる授業の工夫等である。	(県)地域とともに大きく豊かな心の育成事業10月1日
南アルプス市	白根御勅使中	生きる力を育てる教科指導の研究	課題解決的な学習を取り入れた授業づくり	本校生徒の特徴として、自らが問題を解決しようとする力に不足を感じる。このことを解決するにあたり、総合学習だけに頼るのではなく、教科の学習の中に課題解決的な学習を取り入れることにより、問題を解決する力を身につけ、生きる力を身につけさせる研究。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業指定校10月22日2月18日、地域ふれあい道徳教育推進事業指定校10月22日2月18日
南アルプス市	芦安中	望ましい人間関係を築くことのできる生徒の育成	他の人とのかわりに重点を置いた道徳授業を通して	道徳の授業において、他の人とのかわりに重点を置いた授業実践、地域との連携や体験活動を通じた指導、教材・資料の工夫した活用などを継続的にを行い、他の人への思いやりの気持ちや関わり方を身につけさせて、よりよい人間関係を築くことのできる生徒の育成を目指す。	
南アルプス市	若草中	主体的・創造的に活動できる心豊かな生徒の育成	生きる力を育む道徳教育の展開	研究対象を道徳にしぼり、生きる力を育む道徳教育の研究・実践・検証を展開していく。主立った内容は3つある。1つは、道徳の授業の提案(各学年1実践・提案。全職員による参観。事後に全体研究会。6月～10月)。2つには、地域・保護者への道徳の授業の公開(学級担任全員が道徳の授業を公開する。11月19日)。3つには、道徳の全体計画・年間指導計画の見直し(本校の教育活動の実際と関連づけて生きて使える計画にしていく。通年)である。	(県)地域とともに大きく豊かな心の育成推進事業指定校11月19日
南アルプス市	甲西中	基礎・基本の定着を図る学習指導と評価の工夫		基礎・基本を確実に身につけさせるために、各教科の特性を生かした学習の展開と評価を工夫すること。	
南アルプス市	白根巨摩中	地域に根ざし、地域と共に生きる人間性豊かな生徒の育成		「地域の人材を活用し、家庭や地域社会との連携による開かれた道徳教育の充実」を推進するための、地域人材の活用法や道徳の時間の研究及び全体計画・年間指導計画の再構築。	(国)児童生徒の心に響く道徳教育推進事業、(市)地域ふれあい道徳教育推進事業

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
中巨摩郡	玉幡中	生きる力を育む学習指導と評価	心をたがやす国語力の向上を目指して	本校は今年度より2年間にわたって、県で行う「心をたがやす国語力向上推進事業」の拠点校となった。国語は知的活動の基盤として、知識の獲得と能力の形成にかかわるものである。また、子供たちが豊かな感性や情緒を身につけ、円滑な人間関係をつくっていくためには、伝え合う力を育成したり、言語環境を整備したりすることが必要である。各教科の授業において、国語力の向上を目指すため、今年度は各教科でどのようなことを取り入れ、どのようにしたら国語力の向上につながるのかを考えた。また、日常行われている「気持ちのよい挨拶」も大切な国語力である。このような身近なことでできる事柄も学年ごと	山梨県「心をたがやす国語力向上推進事業」拠点校
中巨摩郡	竜王中	自ら学び、心豊かで、たくましく生きる竜中生の育成	興味関心を興す授業の工夫から	社会が物質的に豊かになる過程で価値観の多様化、相対化という状況が生まれている。目指すべきは「心の豊かさ」である。それぞれの多様な生き方を個人としても集団としても認め合い、自らの個性のみならず他人の個性も尊重、集団(生活班クラス・学年・部活・委員会・竜中)の一員として責任感と義務感を持って共に生きることができるよう集団を築かなければならない。集団が現在どのような地点に立っているのかを見極めた上で、今後どのような目標に向かって進むべきかを考え、目標の実現のために主体的に行動していくことが必要であり、その原動力こそ新しい時代に求められる「教養」である。教養とは、基礎学力と知識、これらの基盤となる国語の力、社会規範意識と倫理性、感性と美意識、困難を乗り越えるための体力と精神力など、「知・徳・体」、「知・情・意」といった概念の構成要素やその総体ととらえる。その教養の育成を図るためのステップとして、今年度は教科の研究授業を加え、昨年らしいの道徳と合わせた2本立てとして研究の柱を設定した。	
中巨摩郡	敷島中	新教育課程の実践的研究	「総合的な学習の時間」・道徳・特別活動の体系化	「総合的な学習の時間」の編成の見直しと全体を通じた評価の方法の検討。道徳教育の充実を図ることを目的とした本校独自の取り組みを探る。資料の充実や実践を報告し合いながら共有の財産を残していく。特別活動の領域においては学級・学年・生徒会などの生徒主体の活動と「総合的な学習の時間」との連携について検討する。	
中巨摩郡	竜王北中	自ら学び 主体的に活動する生徒の育成	自己存在感をもてる、教育活動をめざして	授業の研究では、各教科ごと教材を工夫するとともに、グループや小集団での学習活動をおこなうなかで、生徒同士や教師と生徒の効果的な支援・援助の場を設定し、「自己存在感を持たせることにより、主体的に学ぶ授業づくりを研究する。特別活動では、学級・学年・生徒会活動全般にわたり、小集団組織を編成し生徒の居場所(居がい)のある学校生活の実現を目指す。生徒指導総合連携事業の継続を小中間交流を中心に行う。	
中巨摩郡	田富中	生き生きと主体的に学ぶ生徒の育成	「生きる力」に焦点をあてた授業の展開と評価方法の構築	全教科、道徳、総合的な学習の時間の中で「生きる力」に視点をあてて、学習意欲の喚起が持て、学習意欲の向上ができるような授業展開の工夫と、各教科の評価方法の再構築(評価計画・指導計画の見直し)及び、そのシステム化を目指す。	
中巨摩郡	玉穂中	粘り強く課題に向かう生徒をめざして	(1)個の自立を促す民主的な集団づくりの実践(2)基礎学力の定着と向上を図る指導の工夫	(1)集団づくりに関わること①小集団を中心とした活動②生徒の指導力の育成③民主的な原理の確立④心情に訴え感性を高める活動(2)教科指導に関わること①学習目標・評価の設定と分析②授業形態・展開の工夫③教材の選定と精選	基礎学力向上やまなしプラン推進事業(数学)
中巨摩郡	押原中	一人一人の個性を生かす教育を創造し、基礎・基本の定着をはかりながら学力の向上を目指す指導方法		◎研究の柱は以下の4点である。①個に応じた指導のための教材の開発。②個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫。③生徒の学力の評価を生かした指導の改善。④意欲の向上を目指した自主的な活動への取り組み◎研究教科は国語・数学(TT・習熟度別学習)・英語(TT)の3教科。また、学業部会として生徒会や学級の自主的活動、基本的生活習慣や授業規律と学力との関係を研究している。	学力向上フロンティア事業
塩山市	松里中	生きる力を育成する教育の創造	客観性、信頼性を高める評価とその検証	教科、選択、総合的な学習の評価方法の検討・実践していく。また、基礎学力向上に取り組みとして現状把握→実践→途中経過→方向確認→実践→検証し成果と課題を見つめていく。また、継続している講座選択総合的な学習の時間の充実を図る	
塩山市	塩山中	生きて働く基礎学力の定着を図る指導について	家庭や地域を巻き込んでの国語力の向上を目指して	「話す力・聞く力・読む力・書く力・言語事項」を、各教科・総合・道徳・特別活動等の学校教育活動全体で高めていくための方途を探る。また、家庭や地域への働きかけをしていく。	(県)心をたがやす国語力向上推進事業拠点校の指定
塩山市	塩山北中	「自ら学び、進んで活動できる生徒の育成」	～学習指導における指導の工夫と評価の実践を通して～	・昨年度までの研究の確認と修正(評価方法・評価簿・総合)・少人数指導の研究(英語科)・国語力の向上についての学習・研究(他教科や総合との関連)	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
塩山市	松里中	生きる力を	客観性	生徒や保護者にわかりやすい評価方法の研究、また、選択教科、総合学習の評価方法を考える、また、適切な評価に向けて生徒の実情把握、基礎学力向上の取り組みを行いながらその成果の分析を行う。総合的な学習の充実 主教科及び道徳、特別活動で学力授業実践を中心に据え、指導と評価の一体化を図られた学習活動を構想し、研究目標の実現を図る。 このために、「評価規準作成、評価方法の工夫改善のための参考資料－評価規準、評価方法の研究開発－」(国立教育政策研究所、H14.2)並びに「平成15年度研究紀要」(山梨市立山梨南中学校、H16.3)に基づいて、指導と評価の一体化を図った学習活動を構想し、指導案を作成する。なお、その際、各教科の単元や題材の特徴に応じて次の点について重点化して、研究に取り組む。 ① 生徒一人一人の興味や関心を生かす学習活動を構想する。 ② 生徒一人一人の学習意欲を高め、主体的に学習する態度をはぐむ学習活動を構想する。 ③ 生徒一人一人の思考や判断を大切にした学習活動を構想する。 ④ 生徒一人一人の技能や表現が生かされる学習活動を構想する。 ⑤ 生徒一人一人の既得の知識などが生かされる授業を構想する。	勤労生産学習推進校、ボランティア活動普及協力校
山梨市	山梨南中	真理を求め、自ら考え、正しく判断し進んで学習する生徒の育成	学習意欲を高める単元や題材の構想並びに指導と評価の一体化を通して	平成16年度は、次のような研究を考えている。規則正しい生活習慣にもとづいた学級経営を基盤にして、全教科を対象に・評価を生かした指導の改善・少人数指導やコース別学習など学習形態の工夫・個に応じた指導のための教材開発や、学習過程の支援の工夫と改善・学びの機会の充実を、それぞれ目指していく予定である。そして、これらの工夫や充実を通して、生徒一人一人の学ぼうとする力を高めていきたいと考えている。	(文部科学省)学力向上フロンティア事業指定校11月2日
山梨市	山梨北中	確かな学力の向上を目指す学習指導に関する研究	一人一人の生徒の学ぼうとする力を高めるための指導を通して	すべての教科・領域にわたり、「確かな学力」を育むための授業のあり方を研究する。	(県)心に元気を育む道徳教育推進校11月17日(予定)
東山梨郡	笛川中	自ら課題に気づき、解決する生徒の育成	「確かな学力」を育む、教育活動のあり方		
東山梨郡	大和中	確かな学力を身につけた心豊かで実践力のある生徒の育成		①教科学習において基礎・基本の定着を図るための研究。②道徳教育に関する研究。③総合的な学習の研究。④生徒理解を深め、SCを活用した生徒指導の研究。	(県)心に元気を育む道徳教育推進校11月17日(予定)
東山梨郡	勝沼中	基礎学力をはぐくむ教育活動に関する研究		基礎学力を身につけさせるために各教科の学習内容について、個に応じたきめ細かな指導の方法を工夫する。少人数(きめ細かな)指導は3年生の3クラスで、数学・英語の2教科に関して実施。個に応じた指導については各教科で教科の特性に応じて個に応じた指導の研究と実践を行う。また、生徒の関心・意欲を高める工夫を授業を通して取り組む。	(文科省)学力向上フロンティアスクール11月5日、(県)基礎学力向上フロンティアスクール11月5日
東山梨郡	春日居中	「生きる力」を育む教育課程の創造	新教育課程の総合的な研究を通して	総合的な学習の時間の研究と実践、評価についての研究、「国語力」の向上をめざす研究	
東八代郡	芦川中	地域に根ざし、生きる力をもつ生徒の育成	教科指導と道徳教育活動を通して	「教科指導(5教科)」においては各教科の基礎・基本及び身につけさせたい力を確認し、基礎・基本の定着のための具体的手だてを検討する。また、指導と評価の一体化を目指した授業実践(1人1研究授業)を推進していく。 道徳教育活動については、心をはぐくむ道徳教育推進事業に基づく活動実践と授業公開を今までの本校の道徳実践及び諸活動を発展させる形で推進していく。	心をはぐくむ道徳教育推進事業
東八代郡	笛南中	課題に気づき、主体的に学ぶ心豊かな生徒の育成	適切な評価と支援をふまえた授業づくりを深めて	(1)授業づくり ○教科において、生徒の実態を把握し、各教科における基礎・基本を明らかにし、基礎基本の定着をはかるような授業実践を取り組む (2)総合学習・H16.17年度文科省豊かな体験活動推進事業指定校 ○生徒が自らの課題への主体的なアプローチを行うために、総合的な学習の時間は、どうあるべきか情報交換・研究する (3)集団づくり・学校経営の方針の努力点を受け、実践例をまとめておく。 ① 各学級・・・学級開きと総括SCとの生徒指導の事例に関する検討会など	(文科省)豊かな体験活動推進事業指定校(H16/17)
東八代郡	御坂中	基礎学力の定着と向上を図るための教科指導法の実践的研究	基礎的・基本的内容を明確にし、学習意欲を引き出す教科指導法を通して	御坂中において向上させたい生徒の力は「基礎学力」と考える。そのためには、日々実践される教科指導に研究の視点がかけられる。各教科の評価規準、評価基準が具体的にどのようなものかを明確にし、それを生徒へ伝えることにより、生徒は目標を持って各教科に取り組むことができると考える。また、教科指導の工夫、教材研究をすることで、生徒は意欲的に学習するだろうと考え、研究を進める。	平成16年度地域を育てる環境活動推進事業

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
東八代郡	一宮中	課題に気づき、主体的に活動する生徒の育成	指導と評価の一体化を通して	昨年度までの研究をもとに、指導と評価の一体化を通して、より効率的な評価方法の工夫を全教科において、研究をすすめる。小単元ごとの評価方法や評価問題の工夫、評価から評定にどのように結びつけるかなど、日常的な課題を検討する。	
東八代郡	石和	主体的によりよく生きようとする生徒の育成	生徒理解を基盤とした、授業づくり・学級づくりの工夫	昨年度の継続研究とし、授業づくりと学級づくりの2部会で実践研究を行う。授業づくりでは、「すべての生徒に居場所がありより充実した学びに誘う手だての工夫」を3つの視点に分け実践研究を積み重ねる。また、学級づくりでは、「すべての生徒に居場所がある・民主的な話し合いができる学級」を目指し、研修や実践から学びあう。	
東八代郡	浅川中	基礎的・基本的な内容の定着	指導体制や指導方法および教材の工夫を通して	文部科学省指定学力向上フロンティア事業校として2年目になります。確かな学力を育むため、基礎・基本の定着を目指し、個に応じた指導を工夫しています。選択教科の枠の中で、3学年の数学と英語で、2学年の数学で、後期は1学年の英語で、2クラスを生徒の希望に応じ3コースに分けて、必修教科の深化・補充・発展にあたっています。また、2学年の理科と社会でTTの指導体制を組み、必修教科での基礎・基本の定着に取り組んでいます。音楽では、基礎学力向上山梨プランの研究推進委員が実際に授業を担当しながらグループ学習や学習リーダーの育成・活躍を通して基礎・基本の定着を目指して授業実践を行っています。	文部科学省指定学力向上フロンティア事業指定校11月26日
西八代郡	六郷中	「心豊かで意欲的に活動する生徒の育成」	確かな学力へのアプローチ～授業展開・学習形態の工夫と改善を通して～	昨年度のテーマを継続し、確かな学力へのアプローチ～授業展開・学習形態の工夫と改善を通して～をサブテーマとした。学力向上フロンティアスクールの指定を昨年度から受け、授業改善、指導方法、評価等の工夫と改善に取り組んでいる。今年度も小規模学校ではあるが教科指導(全教科)の充実に取り組む。基礎基本の定着、学習意欲の向上など、生徒の状況を把握しながら、日常の授業をいかに魅力的に創るか、今年度も「授業づくり」が研究の中心である。公开发表会を予定している。(11月19日)	学力向上フロンティア事業、11月19日
西八代郡	三珠中	生き生きと学習に取り組む生徒の育成をめざして	評価と学習指導の工夫	「生き生きと学習に取り組む生徒」を育む具体的な手だてとして、各領域における評価の工夫、授業研究(社会、理科、道徳)の推進、先進校視察・講師を招いての研修を実施します。	
西八代郡	市川中	人間性あふれる生徒の育成	生徒の意欲を喚起する評価の研究	「人間性あふれる生徒の育成」を主題に、生徒の意欲を喚起する評価について、各教科の授業実践と検証を中心に研究を進める予定である。今年度は4つの観点の中から、本校の校内研究のテーマに一番かかわりのある、「関心・意欲・態度」を中心に研究し、研究主題、副主題に迫りたいと考えている。	
西八代郡	久那土中	「学び」を中心にした授業の創造		佐藤学氏の提唱する「学び」、すなわち、「モノ(対象世界)との出会い」と他者との出会いと自分自身との出会いと対話による自分づくりとが三位一体となって遂行される意味と関係の編みなおしの永続的な過程」を軸にした授業を展開することによって、生徒に安心や自信を保障できる学校づくりに挑戦する。	(県)心に元気を育む道徳教育推進事業
西八代郡	下部中	確かな学力をもつ生徒の育成をめざして	教育課程上の工夫を指導にどのように生かすか	朝学習・選択教科・道徳・総合的な学習の時間の詳細な年間計画の作成、見直し。「確かな学力」をはぐくむための授業実践(学習形態(小集団学習・TT・グループ学習等)の工夫についての研究、研究授業の実践)本校の実態調査と研究の評価の研究。	心に元気を育む道徳推進事業指定校 11月12日
西八代郡	市川南中	自ら考え、判断し、主体的に活動できる生徒の育成		1. 生徒の意欲を引き出す各教科指導、道徳教育のあり方の研究～学習に主体的に取り組み、よく考える生徒に育てるために研究と実践～ * 基礎・基本の確実な定着 * 個に応じた学習指導・学習評価 * 一人一人の能力を引き出し学習意欲を高める工夫 2. 保健教育の推進～「ストレスの構造」の理解と「対処の仕方」を学び、心理面、行動面において、積極的に健康的な生き方を身につけた生徒の育成～ * 中学校3年間を見通した系統性のある指導計画の作成 * ストレス・マネジメントの研究と実践 3. 総合的な学習の時間の研究と実践～自然体験や社会体験などの体験的な学習、問題解決的な学習を通して～	
西八代郡	上九一色中	『自ら学び考え、主体的に行動することができる生徒の育成』	～「総合的な学習の時間」の領域別カリキュラムづくり～	「総合的な学習の時間」の領域別に系統的なカリキュラムづくりをすることにより問題解決能力のある生徒の育成をはかる。今年度は生き方学習と郷土学習の2領域にしぼり研修をすすめる。	
南巨摩郡	身延中	自ら学び意欲的に活動する生徒の育成	一人一人の確かな学力向上をめざして	地域・学校・生徒の実態に即し、生徒一人一人に応じた学習活動がより可能になる教育課程を編成し、実践する。学習指導における一定の目標(基礎的・基本的学習内容)を定着させ、生徒一人一人の確かな学力を身につけさせるための教材開発、指導方法・指導体制を確立する。本校での絶対評価の規準、評価方法を検証し、指導と評価の一体化を図る。啓発的体験学習を取り入れた進路学習、総合的な学習の時間を軸とした「生き方学習」を、さらに充実・発展させていく。(教科は美術・家庭科を除く全教科)	(文部科学省)学力向上フロンティア事業11月17日
南巨摩郡	下山中	自ら考え主体的に判断し、行動できる生徒の育成	セルフ・エスティームを育む教育活動を通して	教科・特別活動・道徳・総合的な学習の時間など教育活動全般を通して生徒のセルフ・エスティームを高めるための実践的な研究をすすめる。	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
南巨摩郡	富河中	21世紀を主体的に生きる生徒の育成	基礎・基本を定着させるための授業の工夫と実践	各教科で基礎・基本を生徒の姿で洗い出し、全員がB以上になる手だてと評価Cが予想される生徒への支援を考える。全教科が研究授業を行い、生徒の姿を全職員が確認し、生徒一人一人の力の向上のために研究を深める。	
南巨摩郡	万沢中	生きる力の基盤としての豊かな心の育成	表現力の育成を通して～伝え合う力を高める授業の創造～	昨年度は表現力の中の「発表力」に重点を置いたが、今年度は「コミュニケーション能力」を中心に研究を進める予定だす。各教科、総合、特活、道徳の中で授業研究をします。	
南巨摩郡	中富中	わかる授業・生き生きとした生活の創造	新しい自分の発見	教科・総合的な学習の時間・道徳を通して「生きる力」をはぐくむ。教科は課題解決的学習中心。総合はコミュニケーション力などの育成。道徳はエンカウンターを通して自己理解を深めさせ、自己肯定感を持たせる。	中富町 教育研究センター校
南巨摩郡	鵜沢中	活力にあふれ、人間性豊かな生徒の育成	全ての生徒が自己実現をするための手だて	「活力にあふれ」る生徒の育成に向けて、「自己実現」できる力をつけるために、授業や諸活動を計画し実施する上で、自己実現に向けた教材、内容、方法を工夫して、創造していく。教科、総合的な学習、特別活動など全ての教育活動においてすすめるが、特に教科については一人一実践の研究授業を行うことになっている。	鵜沢町の研究指定+11月18日
南巨摩郡	南部中	自ら学び、進んで活動できる生徒の育成	伝え合う力を育む生徒活動をめざして	本校は、16年度・17年度心をたがやす国語力向上推進事業拠点校に指定されている。そこで、国語力(特に副主題の「伝え合う力」)を意識しながら、研究主題の実現を目指している。具体的には、国語科授業研究ブロック、他教科連携推進ブロック、読書活動推進ブロック、地域連携推進ブロックに別れ、研究を進めている。	心をたがやす国語力向上推進事業
南巨摩郡	増穂中	主体的に学び、活動する生徒の育成	生徒の学習意欲を高める授業づくりを中心に	教科を中心に、生徒の学習意欲を高める授業づくりを行うことによって、基礎基本の定着をはかり、生徒一人ひとりの学力の向上をめざす。	
南巨摩郡	早川中	生きる力を育てる早川中教育の創造	基礎学力の向上・より良い評価	基礎学力部会・生徒の基礎学力を向上させるためのより良い指導法・わかる授業の工夫。評価部会・生徒のやる気を引き出す絶対評価・きめ細かく観察した評価を前教科で研究。	
韮崎市	韮崎西中	人間性豊かな生徒の育成	自ら学び、考え、行動する生徒の育成	「生きる力」をはぐくむための「確かな学力」が必要とされている中で、「自ら学び、考え、行動しようとする生徒」を育て、生涯にわたり主体的に学習する意欲と態度を育てることが大切である。そのため、基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導と評価の工夫を教科を中心に取り組んでいる。昨年度作成した評価規準表を教科ごとに見直し、実践を通しながら手直しを加えている。また、指導と評価の工夫では、基礎的・基本的な内容を定着させる授業の工夫と、その定着を見取る評価の場面と方法を中心に全教科において研究を進めている。	(市) 韮崎市教育委員会研究指定校
韮崎市	韮崎東中	生きる力をはぐくむ学習活動の研究	総合的な学習の時間におけるカリキュラムの再構成と生徒の特性を生かした基礎・基本の確実な定着を図る学習活動のあり方	総合的な学習の時間の充実、選択教科の生徒の特性を生かした多様な学習活動の工夫・改善、心をたがやす国語力の向上の3つを柱として、生徒の「生きる力」をはぐくむための学習活動の研究を深める。	心をたがやす国語力向上推進事業
北巨摩郡	武川中	生きて働く基礎学力の向上を目指して	基礎学力定着のための教材の工夫	生きて働く基礎学力を身につけるための教材の工夫に各教科で取り組む。	基礎学力向上やまなしプラン(国語)11月5日
北巨摩郡	双葉中	「生きる力」をはぐくむ学習活動の研究	指導と評価の一体化を図る研究	昨年度の研究を継続し、実践に基づく研究を進める。特に、昨年度に作成した単元(内容のまとまり)ごとでの評価計画を実践し、より適切な指導と評価の一体化が図れるよう研究を進める。	(文科省)運動部活動地域連携事業
北巨摩郡	小淵沢中	「生きる力」をはぐくむ学び場の創造	一人一人の力を引き出すための教育相談・指導法・評価の研究	教師の支援は目の前にいる生徒の現実から出発する。生徒の心に寄り添った適切なカウンセリングを行うことにより、一人一人が自分の課題に気づき、自らの力で解決の方法を身につけさせることになるだろう。教師がそういう力を身につけるために研修を深める。合わせて「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」公開授業に向けてより魅力的な授業づくりを研究する。	心に元気をはぐくむ道徳教育推進校11月
北巨摩郡	泉中	豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成	環境学習を通してすすんで実践できる生徒の育成	総合的な学習を中心に環境教育を行う。総合的な学習では評価基準を作成する。地域で行われている環境体験学習にすすんで参加し、環境問題を身近なものとしてとらえ、行動に移せる生徒の育成を目指している。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
北巨摩郡	白州中	豊かな心を育み、道徳的価値の自覚を高める道徳教育	体験活動と関連を図った道徳の実践を通して	体験活動と道徳の授業との関連を明らかにし、総合的な学習の時間の体験活動と関連を図った道徳学習を構想するなど、体験活動を生かした道徳の授業の実践につとめる。また積極的に外部人材の活用を図る。	
北巨摩郡	明野中	生徒の学ぶ意欲を高める手だての研究	なし	各教科において基礎基本の学習を工夫し定着を図れば成就感、達成感を得ることができ生徒の学ぶ意欲を高められるのではないかと考え研究する。	
北巨摩郡	高根中	豊かな心を持って、たくましく生きる生徒の育成	～特色ある学校作りを探る～心の教育の推進と、総合的な学習のカリキュラムづくりを進めながら	特色ある学校作り→生徒の実態を把握し、何が必要か、具体的方針を考え来年度の研究課題に向ける。 心の教育→これまでの実践を継承する。必要に応じて学習会をする。 総合→これを研究のメインとする。これから行う題材を中心に目標(評価規準)を設定し、手だてを工夫し、成果を検証する。学年を中心に部会を作り行う。本校としてのカリキュラムを作り上げる。 基礎学力向上プラン(社会科)→社会科部会を中心に研究する。	(県)基礎学力向上プラン(社会科)指定校 公開日は未定
北巨摩郡	長坂中	生徒一人ひとりの個性を伸ばすきめ細かな指導のあり方	教科・道徳の実践をとおして	子どもを学習者にするために、生徒が課題意識を持つためのガイダンス、意欲的に取り組ませるための工夫、予習の必要性を感じさせるための授業の工夫などの観点を念頭に、めざす目標を明確に提示し、生徒自らが解決する課題をつかみ、意欲的に授業に取り組む教科指導のあり方を研究していきたい。	
北巨摩郡	須玉中	[生きる力]を支える「確かな学力」の向上を目指した学習活動の展開	生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実を通して	「確かな学力」を向上させていくために「必修教科」「選択教科」「総合的な学習」において、個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善、主体的に学ぶ学習指導・支援の工夫改善を行う。	(県)学力向上フロンティアスクール指定校11月5日
北巨摩郡	甲陵中	中高一貫教育の中で特色ある教育課程編成の研究	指導方法及び評価方法を中心に	生徒の学習に関する意識や実態調査を行い、中高一貫教育の中で高校との連携を密接に図りながら生徒一人ひとりの個性や創造性をよりいっそう伸ばすことができる教育課程の編成を目指し指導方法や評価方法について研究を行う。	
富士吉田市	下吉田中	自ら学び、考え、活動する生徒の育成	学級集団づくり・地域連携を通して	平成16年・17年度の2年間、国立教育政策研究所より「生徒指導総合連携推進事業」の指定を受け、小中・家庭・地域がそれぞれの役割を認識しあい、共通理解を持って指導していくために、ネットワークを確立する。そのために推進委員会や学校間や各機関との交流事業を展開していきながら、生徒指導の向上をねらい研究していく。	地域指定生徒指導総合連携推進事業
富士吉田市	明見中	確かな学力を身に付けた生徒の育成	生徒の実態に応じたきめ細かな指導の工夫を通して	学力向上フロンティア校として、各教科で、生徒の実態に応じたきめ細かな指導の工夫について研究を進める。また、全校で、帯選択の実践を行いながら、そのメリット・デメリットを明らかにするとともに、基礎的な学力を生徒に付けることについて研究を進める。	学力向上フロンティア校11月28日の予定
富士吉田市	吉田中	生徒が自ら学ぶようになる分かりやすい学習指導のあり方	学習目標未達成の生徒に教師がどのように迫っていくか	学習目標未達成の生徒に対する学習保証の手だての構築、主に数学と英語の授業を中心に、生徒の習熟度に応じた指導の構築、全校または学年で、共通した基本的な学習内容を定着させる企画、研究授業や学校全体での取り組みなどの実践、の4つを中心に研究を進めていく。	
富士吉田市	富士見台中	「向上心を持って取り組む生徒を育成する学級活動」	生徒の生きる力を育む短学活の実践を通して	富台中における短学活は連絡が主になっていて、継続的な取り組みができずにいたり、マンネリが見られる。1年間でトータルすればかなりの時間が費やされることになる短学活において、生徒と担任の結びつきを強め、生徒同士の関係を作り、お互いを認め合う雰囲気を作り出し、自治的な集団作りをしたい。そこで最終的には富士見台中学校オリジナルプログラム作りを旨とし、「朝の会・帰りの会」について研究する。	スクールカウンセラー活用事業調査研究校
都留市	都留第一中	自ら考え、たくましく生きる生徒の育成	生徒の心に響く道徳教育を目指して	生徒の豊かな心の育成のために、「道徳の時間」の充実と道徳実践力につなげるための体験活動の活性化を図る。授業研究部、体験活動研究部、地域連携研究部を組織し、研究を進める。	地域ふれあい道徳推進事業
都留市	都留二中	学級経営において、集団作りを充実させることにより、自治の出来る生徒を育てる研究	組織・リーダー・討議作りを中心として	豊かな人格の形成のために欠かすことの出来ない「人間関係作り」を、学級集団を基本に据え、「班作り」「リーダー養成」「討議作り」を柱にして、全教師一体となって進めていきたいと考えている。 そのような自治力を持った生徒を育成することは、「自ら課題を見つけ、自ら学ぶことが出来る生徒」の育成にもつながっていくのではないかと考えられる。以上の理由から上記の研究テーマを設定した。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
都留市	東桂中	視野を広げ、生きる力を育て高める指導の充実	各教科・総合的な学習・放課後学習チューター及びSC講師等外部講師の活用を通して	各学年生徒の発達段階や実態を考慮した総合的な学習を展開し、豊かな人間性や、生きる力が育つ指導法を探求する。授業の学習効果を高めたり、生徒一人ひとりの基礎学力を保障したりするための、有効な放課後学習チューターの活用方法を検討し実践する。生徒にとって視野が広がり、将来の多面的な発達の援助となり得る外部講師の発掘と効果的な実践法を検討する。生徒理解のためのカンファレンス研修を大学教授と共に推進していく。	(文科省)放課後学習チューターの配置等に係る調査研究事業指定校、(文科省)家庭教育支援総合推進事業指定校
南都留郡	勝山中	豊かな心を持つ生徒の育成		「豊かな心」とは、美しいものを素直に感動できる心、思いやりの心などである。この研究では、生きる力、忍耐力などを含めた上位概念と捉える。「豊かな心」は全教育活動を通して行わなければならないが、道徳を中心に研究を進める。アンケートにより生徒の実態を捉え、生徒の興味関心のある教材の開発や地域の人材の利用などを行い、授業研究を実践していく。また、講師を招き、道徳の学習会を開き、道徳について学習する。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業11月
南都留郡	道志中	豊かな心を持ち、主体的に生きる生徒の育成	教科指導・進路指導を中心として	本年度は「教科指導」と「進路指導」を中心に据えて研究を行うこととした。「教科指導」では、生徒の実態に即した各教科ごとの指導重点を設定し、その重点課題について研究を深め工夫していくと同時に、研究授業を実践して検証していく計画である。「進路指導」については、年間計画の中に啓発的な体験活動を取り入れるための研究を行い、各学年の段階的・系統的な指導をふまえた実践を考え、実施につなげていく計画である。	
南都留郡	秋山中	意欲的に学習する生徒の育成をめざして	学力向上を中心に	本校の急務の課題である「学力向上」について、本校の生徒の現状を把握し、どのような「学力」が不足しているのか認識する。そして本校の生徒に付けさせたい「学力」をどのように付けさせるか理論研究を中心に行う。	(県)勤労生産学習推進校
南都留郡	河口湖南中	自ら学び・互いに高めあえる生徒の育成	生徒の興味・関心・意欲を高める授業づくりの	教科部会を中心とする授業づくりに取り組む。月1回、または必要に応じて教科部会を実施し、教科の指導法・指導内容の工夫、教科の特性を生かした授業形態の工夫についての研究を推進する。その研究を通し、生徒一人一人の個性を尊重、理解に基づく授業実践を行い、テーマに迫るための検証に取り組む。	
南都留郡	西浜中	和と創造を基調とした未来を拓く生徒の育成をめざして一教科学習における絶対評価の実際的工夫について	～特に評価項目「関心、意欲、態度」の情意面での評価について～	各教科で、絶対的な評価の四観点のうち、特に「興味、関心、意欲」について取り上げ、どんな場面でどんな評価をしているか実践検討をする。評価方法の検討のみにとどまらず、研究結果を生徒の指導に生かしていく。(特に生徒の実態をもとに「向上」を図る手だてを研究する。)	
南都留郡	山中湖中	一人ひとりに、人間としての豊かな成長を目指して	話し合いに根付いた自治的諸活動と、心に響く道徳授業の実践を通して	学級での討議活動が、円滑に平等にできるよう、生徒の自治的な諸活動を仕組んでいく。意見の言いやすい学級の基盤の上で、豊かな人間性に根付いた道徳授業の実践研究に取り組む。	
南都留郡	西桂中	確かな学力と伝え合う力を育てる	しとやかに表現して心を通い合わせる生徒	「児童生徒の基礎学力についての実態把握」「ネットワーク学習ソフトによる選択学習のあり方」「国語力向上のための拠点校としての研究」	(県)心をたがやす国語力向上推進事業
南都留郡	河口湖北中	一人ひとりを育む評価活動		評価の方法について、資料等から学び、実際の教科の授業を通して実践し合い、レポートを出し合う中で研究を深めていく。	(県)基礎学力向上やまなしプラン推進実践校、(県)交流教育提携校
南都留郡	忍野中	集団や社会とのかかわりの中で、進んで行動し、生きる力を身につける生徒の育成	「基本単位としての学級」の活性化	学級集団づくりに関わる様々な観点(班活動、プログラム委員会、学級合唱づくり、行事への関わり等)に対して、全職員がそれぞれの立場で学習を深める。特に班活動の仕組み方やプログラム委員会の運営方法を学びながら、学活の授業実践を行う。また、学級集団づくりに関わる観点について、各担任の実践報告をもとに集団討議を行う。	
大月市	大月東中	心を育てる教育	エイズ教育(性教育)を通して	昨年度に引き続き3年目となり、授業実践と並行して集会活動への実践を開始し、広報活動と講演会とを合わせた三者のあり方を研究する。	文部科学省、11月10日

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
大月市	七保中	自ら学び行動する、心豊かな生徒の育成	望ましい人間関係を培う道徳教育	道徳教育アンケートや道徳性向上検査を実施し生徒の道徳性を分析し実態を把握し、結果を全体計画などの反映とせたり、道徳の時間に生かしていく。講師招聘による道徳の今日的な課題や道徳的体験活動(エンカウンターや地域人材を活用した道徳の授業など)についての学習会を持つ。また、互いに授業を参観し合ったり、資料を提供し合い、授業に役立たせる中で、研究主題の具現化に迫る。	
大月市	梁川中	自主的・主体的な生徒の育成	指導と評価の一体化を目指して	自主的・主体的な生徒とは、どんな姿であるか。まず、生徒の実態から目標とする態度や行動を洗い出し、グループ毎に研究テーマを設定した。そのテーマに沿って一人一実践を合い言葉に、全教員が各教科や特別活動の研究授業を行う。そして授業後の研究会で、授業に関わる生徒の様子について情報交換する。研究会における成果と課題を今後の授業に活かしていくことにより、研究主題である生徒像に近づいていくであろう。	
大月市	富浜中	自ら学び、自ら考える生徒の育成	基礎・基本に習熟させるための指導の工夫と、個に応じた授業展開の模索	個に応じた授業展開をめざした教科・道徳・特別活動における授業研究、および基礎・基本に習熟させる指導法の研究。生徒自ら課題を見つけ、その解決を図るための総合的な学習の時間の実践、および生徒の興味・関心を喚起するための選択教科実践と、それに伴って生じる諸問題克服に向けての研究。豊かな心を育てるための朝読書、および菊づくりなどの体験的学習の実践と、それに伴って生じる諸問題克服に向けての研究	
大月市	大月第一中	生き生きと主体的に活動する生徒の育成	評価規準・評価方法の深化とメディア活用能力の育成を通して	評価規準の見直しと確認をし、ルーブリックの活用による授業研究を行うことによる評価方法の一層の深まりと充実を追求する。さらに、今年度もメディア活用の研究と機会を増やしより有効な能力を身につけていく。	
大月市	猿橋中	学習に意欲的に取り組む生徒の育成をめざして	基礎・基本の定着を図るための指導方法の工夫	本年度は、保健体育の長距離走、理科(領域未定)、英語(領域未定)、社会(予定)などにおいて、生徒の実態に即した導入方法や、学習内容の定着のための効果的な指導方法・評価、また、学習活動の場の整備や授業内容の工夫を図り、教材・教具の精選や教職員の支援のあり方などを実践を通して探っていく。	
北都留郡	桐原中	自ら課題を見つけ、考え、自己の生き方をきりひらく生徒の育成	ひと・もの・こととの関わりの中で個に応じ、個を鍛える総合的な学習への取り組み	本校は山間に位置する学年単学級で各学年20名にも満たない小規模校である。その中で生徒は幼い頃から固定されている人間関係の中で育ったためか、与えられた課題や学習態度は非常に真面目に取り組むが、コミュニケーション能力や豊かな表現力に欠けている面もあがる。そこで総合的な学習において、他者を対象とした情報収集能力やコミュニケーション能力・発信能力に関わる実行力の育成に重点を置き、「自ら課題を見つけ、考え、自己の生き方をきりひらく生徒の育成」を目指す。	未定
北都留郡	丹波中	「主体的に活動する生徒の育成」	～主体性を育む指導の追求～	各種学習検査や一人一実践の授業提供から、評価研究の検証を行い、生徒個々を考えた学習形態の工夫(指導法や評価法を含む)を図る。また、本年度より設置された特別支援教室における指導体制についても、併せて研究を行う。	丹管教協センター校、丹管教協統一授業研究会 11月10日
北都留郡	上野原中	「確かな学力」を身につけさせるための指導のあり方	自己評価活動の実践を通して	1)学年ブロック研究部門:①学級活動の充実、②道徳指導の充実 2)教科研究部門:①各教科における自己評価の工夫、②きめ細かな指導の授業実践(習熟度別指導、T・T指導)	(国)学力向上フロンティアスクール 指定校11月19日
北都留郡	巖中	豊かな心を持ち、生き生きと主体的に学ぶ生徒の育成	「確かな学力」の向上に向けた取組	学習指導カウンセラー(山梨大学人間科学部 堀 哲夫教授・進藤 聡彦教授)の指導・助言のもと、生徒の学習状況の把握、教育課程に関する自己点検・自己評価、及びそれに基づいた指導計画や指導方法の改善などを通して、「確かな学力」の向上に向けた取組について実践的に調査研究を行うこととした。また、研究対象は2,3年生 全教科とした。	学習指導カウンセラー 派遣事業
北都留郡	島田中	自ら学び、主体的に活動する生徒の育成	総合的な学習と教科の時間の実践と評価を通して	これまでの総合的な学習の時間を見直し、3年間の系統だったものとしてねらい、内容、評価などから効果的な教師の支援方法を探ることで、主体的な生徒の活動を育成する。また、評価活動において教師の評価の力量を高めるとともに、生徒自身の自己評価力をつけていく。	
北都留郡	平和中	確かな学力を身につけ、心身共に健康で心豊かな生徒の育成	基礎・基本の定着を図る取り組みを通して	朝の学習の工夫、基礎・基本を明確にした授業改善、家庭学習の充実を図る取り組みを重点においた学習活動を展開することによって研究主題につながる生徒を育成したい。	
北都留郡	小菅中	生徒の生きる力を育む教育課程の確立を目指して	学習活動における生徒の基礎基本の向上を目指した実践の工夫	本年度は「学習指導要領」「中教審答申」「山梨県学校教育指導重点」をうけ「生きる力」を身につけた生徒を育成するために研究を行う。その中で特に「生徒の基礎基本の定着と向上」を重点目標とし、以下の内容で研究を行っていく。研究授業の実践(一人一実践 国語・社会・数学・理科・英語・体育・保健・学活)、選択授業・朝読書への取り組み。	NIE実践校

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
北都留郡	西原中	主体的に学ぶことのできる生徒の育成	評価方法の検討とその生かし方の研究と授業実践を通して	昨年度作成した各教科の評価規準表が妥当なものかと常に意識をしながら授業実践を行う。また、そこから評価活動の実践を通して、本校独自の評価規準表を作成していく。	
県立	山梨園芸高	福祉・ボランティア活動の推進について		平成16・17年度の2か年間、「豊かな体験活動推進校」の指定を受け、農業高校としての特色を生かし、現在実施している様々な体験活動をさらに推進していくにあたり、特別活動および総合的な学習の時間等において、特に「福祉・ボランティア活動」を実施していく上で、生徒が興味・関心を持ち、主体的に実践していくためには、どのように指導していけばよいのかを研究する。	豊かな体験活動推進事業
県立	甲府城西高	該当なし			
県立	甲府工業高	生徒の生きる力を育むために、 ①基礎的・基本的な学力を確実に定着させる。 ②主体的な学習態度を育成する。 ③人間性豊かな工業人を育成する。		文部科学省主催の学力向上フロンティアハイスクール事業の実施に伴い、各学科、教科、教務、生徒指導、進路指導、生徒会が中心となり、研究主題を達成するために、調査、研究を行う。	学力向上フロンティアハイスクール
県立	甲府東高	主体的な学習態度を育成するための指導法の研究	到達度学習の工夫・改善	①主体的な学習を促す到達目標の設定の在り方 ②到達度試験、定期試験の改善 ③単元ごとの観点別評価と到達度評価の導入 ④課題解決能力・表現力を育成する指導の工夫	(国)学力向上のフロンティアハイスクール事業 公開なし
県立	甲府南高	新しい時代を切り開く道筋としての南高活性化	新教育課程実施に伴う授業の工夫と教育活動の充実	新教育課程の実施及び学校週五日制に伴う諸課題を検討し生徒の個に応じた教育を踏まえ教育活動を充実させるための研究を各分掌、各学年で行う。教科の研究においてはシラバスの作成に取り組みより内容の明確なものにさらに評価の内容等について研究する。	(国)スーパーサイエンスハイスクール4月26、30日、5月7、14、21、28日、6月4、10、11、18日、7月2、9、10、16、17日、9月7日、10月8、15、22、27、29日、11月5、12、19日、12月3、10、16、17日、1月14、21、28日、2月4、18、25日
県立	甲府西高	生徒の自主性・主体性を育む学習指導の研究		各教科における、学習指導方法の工夫・改善の取り組み。	
県立	甲府第一高	「確かな学力」の向上のために、基礎学力の定着を図る指導方法を研究する。		学習意欲を喚起する教材の開発。授業目標や内容を生徒と共有するシラバスを活用した指導方法の研究。授業と家庭学習の一体化を目指す指導方法の研究。習熟度に応じた授業展開の在り方の研究。思考力の評価につながる試験問題の工夫・研究	スーパーイングリッシュラングエッジハイスクール

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
甲府市立	甲府商業高	自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成	1. 激変する国際・経済情勢に対応できる基礎学力を身につけさせるための指導法の研究2. 生徒の個性を生かし自らが学ぶ意欲の育成と分かる授業の展開3. やる気を育てる評価方法の研究	金融教育指定校2年目の仕上げの年として全校生徒対象にお金に関するアンケートを予定している。商業科、家庭科公民では授業の中で特に金融教育を重点的に行う予定である。生徒達の自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力を育てるために作文コンクールを校内で実施したり学園祭のクラス展示において意欲的に取り組ませたいと考えている。	金融教育研究指定校
県立	白根高	確かな学力をつける指導のあり方	授業改善を中心に、多面的な教育活動を通して、主体的に学習できる生徒の育成	「確かな学力の向上」のためには、全教科において、授業改善を図るとともに、他の教育活動を通して多面的なアプローチをすることで、自立的な学習者を育成することが必要と考える。すなわち、①指導目標の明確な設定、実用的なシラバスの工夫、生徒による自己評価、個に応じた指導、適切な場面と方法による評価、などを通じた授業改善 ②インターンシップを含む総合的な学習の時間や学校行事による学習者の学ぶ意欲の喚起 ③授業規律の確立や、生徒同士、生徒と教師相互の理解と信頼感を高めるような学習環境づくり の3つを視野に入れ、研究対象とする。それらが相互に影響し合うことを考慮した上で、全教科、関係の分掌において、現行の活動を見直し、着実な実践研究を3年間かけて段階的に進めていく。本年度はその最初の年である。	知のバイオニア推進事業公開日は特になし
県立	甲府昭和	基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的な学習態度を育成するための授業研究	学習計画表の効果的指導法、教科の達成目標への取り組み、新教育課程に対応した授業実践	昨年度に引き続き、生徒の変容に対して、本年も基礎基本の定着と、家庭学習の習慣化を図り学習態度を育て、確かな学力を身に付けさせることを目指し、そのための指導研究を行う。	知のバイオニア推進事業(確かな学力向上推進事業)
県立	塩山高	生徒一人一人に確かな学力の向上をめざして		学習指導要領のねらいは、「生きる力」の育成にあり、特に学校においては、家庭、地域との連携の下、「生きる力」を知の側面からとらえた「確かな学力」向上の取り組みを充実させることが求められている。「確かな学力」向上のため分かる授業、個に応じた指導、学力向上に向けた学校の指導体制について取り組む。研究は全校体制で分掌、を始めとする全教科及び教育相談、生徒指導、学習研究など全ての領域で研究していく予定である。	知のバイオニア推進事業指定校、
県立	山梨高	各教科における学習評価の実践的研究		各教科において、指導目標及び到達目標を明確化し、具体的な評価の方法を考える。範囲としては、各教科1科目の中で、具体的な評価規準と評価方法を考える。	
県立	日川高	生徒1人1人の進路実現可能な学力育成のための指導方法・指導体制の研究	平成15年度の研究課題・研究計画に基づく具体的実践	全教科・科目を研究対象として、授業改善の工夫、教材および指導方法の共有化が図れる体制を研究する。授業公開や授業アンケート、及び各種調査を実施し、生徒1人1人の実態に合った確かな指導の実践を目指す。また「履修の手引き」や「学習の指針」を活用した学習や進路ガイダンスにより、将来を見据えた「生きる力」の育成を図る。	「学力向上フロンティアハイスクール事業(公開日は不明)」
県立	石和高	新学習指導要領の定める目標等の実現状況について実践的な調査研究	生徒の学力をどう総合的に評価できるかを、4つの観点から総合的に考える。	新学習指導要領の定める目標等の実現状況について実践的な調査研究をおこなう。生徒の学力をどう総合的に評価できるかを、4つの観点から総合的に考える。国が定めた評価規準を理解し、その枠にはめて研究を行う。授業目標や内容を生徒と共有するシラバスを活用した指導方法を研究する。	全国的かつ総合的な学力調査の実施
県立	峡南高	学習シラバスとその評価基準の再考	具体的な評価基準作成	前年度までに作成された学習シラバスとその評価基準について、各教科・科目ごとに生徒の実態をふまえた具体的な評価方法と評価材の研究を行う。	

郡市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
県立	市川高	分かる授業、個に応じた指導による確かな学力の育成	学力向上に向けた指導体制の確立	研究内容につきましては、現在検討中です。後にもふれませんが、本校は今年より「知のバイオニア」の指定校になりました。3年間の計画で、この一年に何をするかを検討の予定です。	「知のバイオニア学力向上推進事業」
県立	身延高	評価規準の作成		来年度に全科目の評価規準完成を目標に、今年度は準備期間として取り組む。科目・単元の到達目標や評価方法を見直ししながら、各教科の全担当者が評価規準を作成していく。	(県)生徒指導研究推進校
県立	韭崎工業高	「確かな学力」を向上させるために必要な「分かる授業」の推進		基礎基本の定着のために効果的な教材や指導法の研究。授業内容や到達目標が生徒に伝わり、理解できるようなシラバスの工夫や改善。評価規準を作成するとともに評価方法の工夫と改善。	(国)サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業、(国)豊かな体験活動推進事業、(県)知のバイオニア(確かな学力向上推進事業)
県立	韭崎高	主体的な学びを通して、生きる力を育む指導のあり方	NIE等を活用した、思考力・判断力・表現力の育成	NIEを学校教育の中に取り入れ、授業や特別活動で活用することにより、活字に慣れ親しむことから学習習慣の確立をし、考え、判断し、表現する力を育て、主体的に生きる力を養うことで、生徒の自己実現能力を育成する。研究は、全教科、生徒会等分掌の全校態勢で実施する。	外郭団体指定・NIE推進実践校
県立	北杜高	生徒の学力向上を図るために	基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。主体的な学習態度を育成する。主体的な学習態度の育成と確かな学力の定着をめざす	生徒1人1人の習熟に応じた学習指導を充実させ、教科指導の工夫や改善のため公開授業を実施。各教科において評価規準を作成し、基礎学力を定着させ、より伸ばし引き上げる教育を実践する。	学力向上フロンティアハイスクール15. 5. 1
県立	吉田商業高	自ら学ぶ意欲ある生徒の育成をめざして		自主的・主体的に学ぶ姿勢や学ぶ喜びが感得できるように教科の指導内容や指導方法の工夫改善をし、確かな学力の定着をはかっていく。また生徒が自己の学習状況や成果を把握・評価できるような評価の方法についても研究する。	
県立	吉田高	「確かな学力の定着」を図るために活用できるシラバスの作成についての研究		日常的に生徒が活用し、生徒の自主的かつ計画的な学習を促すとともに、基礎・基本の習得をサポートできるシラバスの作成に向けての研究。教員にとって授業内容向上につながるシラバスの作成と、シラバスを活用した指導法の研究。	
県立	桂高	充実した教育を目指した高校の在り方	1大学との交流による豊かな教育の場の創造 2市内中学校との交流による教科研究の展開	①高大連携による出張講義、学生による学習や部活動指導、生徒会と学生会の交流等を活発に行い、これらの交流の内容をさらに精選することで、より充実した高校教育が展開できるようにする。②中学校教諭との教科研究会を開き、中学校から高校への教科教育の接続が円滑となるように、双方にて教科指導について研究する。③多くの研究機関に協力を仰ぎ、開かれた高校教育が展開できるようにする。	
県立	谷村工業高	該当なし			
県立	谷村工業高 定時制	国語力の基礎定着を促す総合学習への取り組み	漢字ドリルの作成とその活用を通して	総合学習の時間に、基礎的な知識である漢字を反復学習させることにより、学力の向上を図る。	
県立	都留高	進路指導計画の改善・充実を目指して	キャリアガイダンス・総合学習・進路別ガイダンスの連携を通して主体的な進路選択の実現を図るために	基本的には昨年度の研究を継続する。高校3年間で、適切な進路選択を促すと同時に、生徒自身が学ぶことに対して主体的に臨むことができる学力の育成を目的とする。そのために1年次での「キャリアガイダンス」、2年次での「総合的学習の時間」、3年次の「進路別ガイダンス」を実施する。生徒に各ガイダンスの目的や意義が浸透し、進路に対する意識が高められるよう、各ガイダンス機能をより充実させ、有効に接続していく。	山梨県教育委員会

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
大月市立	大月短期大学 附属高	自ら学び、自ら 考える力を育成 する指導のあり 方に関する研究			文部科学省 Eイズ教育 (性教育)推 進地域事業
県立	上野原高	新学習指導要 領に定める目標 等の実現状況 の把握	各教科による目 標及び評価規 準作成	昨年度に続き、研究テーマを「新学習指導要領に定める目標等の実現状況の把握」とした。テーマの中には、観点別評価を行うというサブテーマを抱えており、昨年より、各教科の目標及び評価規準を作成することに研究してきた。来年度4月より、各教科の評価規準をシラバスとともに公開できる。来年度は、各観点の実現状況を把握していきたい。	(国)平成1 6年度全国 的かつ総合 的な学力調 査の係わる 研究指定校 17年度末
県立	中央高	自ら学び、主体 的に行動できる 生徒の育成	心身の調和のと れた生徒の育 成	生徒一人一人の興味・関心・能力・適性に即し、基礎的・基本的な知識・技能の取得を目指した授業を展開する。望ましい人生観・職業観を育て、主体的な進路選択及びその実現を図る学習指導に努める。また、積極的に他者と共存していく態度をはぐくむ。そういう中で、特に、スクールカウンセラーの有効活用や、教職員の教育相談的な活動を活発にし、生徒との信頼関係を確	
県立	富士河口湖高	該当なし			
県立	北富士工業高	該当なし			
県立	富士北稜高	トライ&フィット (学校設定科 目)の運営と評 価について		総合学科における系列選択の指導のため、学校設定科目としてトライ&フィットを実施している。ローテーション授業や他校を会場とするなど運営面で調整が難しいので、より効率的な運営について研究する。また、短時間のローテーション授業における適切な評価についても研究する。	
県立	増穂商業高	確かな学力の 定着を目指して		新学習指導要領のねらいを踏まえ、「基礎学力」「確かな学力」の定着化を図るとともに、生徒に豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成することを目指した研究。本年度の具体的な取り組みとしては、全教科において必修科目を対象に評価規準を作成し、評価方法の確立を目指したい。	(国)学力向 上フロンティア ハイス クール事業 指定校
県立	巨摩高	自ら学ぶ意欲を 高めるための指 導法の研究	①基礎・基本の 定着と学習意欲 を高め、さらに 学力を高める授 業の展開②自ら 考え、自覚的に 生活規準を確 立できる生徒の 育成	各教科及び分掌において生徒の実態の把握を踏まえて、その事実に基づいた指導法の研究をおこなう。	
県立	農林高	「農林高校をス テップアップす るための生徒職 員の改革」「イン ターンシップ推 進について」		学力向上フロンティアハイスクール推進事業2年目として、平成15年度実施新指導要領に基づく評価規準に則った授業実践とその検証。平成17年度実施を目指したインターンシップの取り組み。	学力向上フ ロンティアハ イスクール 推進事業
県立	盲学校	特別支援教育 への移行を検 討する	各学部の活動 を通して	特別支援教育への移行に伴い、特殊諸学校では、地域のセンター的役割を担うなど、新たな支援の仕方を求められることとなり、本校でも県内1校の盲学校としてどのような支援ができるのか模索しているところである。そこで、特別支援教育について学校全体で学び、共通理解をはかりながら、本校としての支援の在り方を検討していきたい。また、学部毎に実際の支援活動を行う中で、それらを日々の実践につなげて考え、具体的な支援の在り方についても検討していきたいと考える。	
県立	ろう学校	生きる力を育む ために		昨年度の自立活動の研究内容を踏まえ、各学部で研究を進めていく。自立活動の指導内容や方法を継続して研究したり、言語力やコミュニケーションについて、深く考えたり、また進路に向けての学習を自立活動の視点から捉え指導するなど、各学部の課題にあった内容を研究していく。今年度も研究授業を充実させ、実践を通して考えていきたい。	

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
県立	わかば養護学校ふじかわ分校	個々の実態に即した教育課程をめざして～授業作りを通して		今年度の研究についても、一昨年と同様、授業づくりを通して、授業内容や方法等を模索し、日々の授業に生かされる授業実践を積み重ねながら、個々の実態に即した教育課程の検討をしていきたいと考える。小学部では、昨年度同様に「あそび」を、中学部は、「総合」を授業づくりを通して研究していきたい。また、「特別支援教育の在り方」という社会の動きも把握しながら、分校独自の教育の在り方も、さらに探していきたい。	
県立	富士見養護 旭分校	自己肯定感を育てる発達支援のあり方	発達に基づいた事例の分析から支援方法を考える	親子関係をはじめとした生育歴の中での人間関係に注目し、自己肯定感を下げているものは何かということに焦点をあて、個々の発達のつまずきと支援の方法を児童生徒の行動の事例をもとに研究を行っていく。	特別支援教育推進体制モデル事業
県立	あけぼの養護	一人一人の実態に応じたより良い学習指導を求めて		昨年度の研究主題を継続し、校内を3学部5パートに分けて、それぞれのパートが抱えている、より良い学習指導の上での問題点に取り組む。各学部の内容としては、小学部では自立活動の指導、高等部では自立活動の指導及び進路学習に焦点を当てる。中学部は現在検討中。	
県立	ふじざくら養護	児童生徒一人一人の教育的ニーズにこたえる個別の指導計画の作成と活用		本校では、昨年度までに各教科・領域の個別の指導計画について検討を行い書式の確立がなされた。しかし、実践との関連は十分な検討が行われていない。さらに高等部では、「個別の移行支援計画」の作成に向けた取り組みが重要な課題である。今年度は、本校の個別の指導計画について、作成と活用の視点から課題を明らかにする。現状の課題を明らかにし、具体的な取り組みに結びつけ、個別の指導計画の土台である教育課程の改善に反映させることを目標とする。	
県立	やまびこ養護	小・中・高等部および寄宿舎の連携をめざして	各学部においては教科学習を、寄宿舎においては生徒の自立を研究の糸口として	「社会科」「理科」の授業研究から、各学部において生徒の実態に応じた授業のあり方等を考える。また、寄宿舎においては自立と社会参加をテーマに実践から考えていく。その中で、他学部・寄宿舎とどのように連携を図っていけばよいか考えていく。	
国立	山梨大学教育人間科学部附属養護	自ら考え行動する力を育むための支援の探求		今年度の研究においては「意欲」「判断」「応用・工夫」「表現」のという4つの視点を取り上げ、この視点に即した適切な支援を考え実践していくことによって、児童生徒に「自ら考え行動する力」を育てていくことができるのかを授業実践を通して検証していきたい。また、支援の具体例を整理し、「自ら考え行動する力」を育むための適切な支援のあり方をまとめていきたい。	
県立	富士見養護	子どもの心を育てる支援のあり方		近年、本校に在籍する子どもたちは心の問題を抱えるケースが多くなり、子どもたちの抱えている問題やその背景となるものは、多様化傾向にある。子どもたちの「心の育ち」を援助し、子どもの挑戦を見守ることができる支援のあり方、つまり病弱養護学校の教育相談のあり方について明らかにしていく。その為には「心の育ち」を多角的に、複眼の視野で見つめる視点を構築しなければならない。この視点を持って、子どもと向かい合うことによって、子どもたちの心は育っていくのではないかと考える。	
県立	わかば養護	教育課程の検討～実践を柱として～	個別の教育支援計画について考える(小学部)からだについて考える(中学部)生徒自ら主体的に取り組む作業学習(高等部)生き生きとした主体的な生活をめざして(寄宿舎)保健室の機能を生かす健康相談活動の展開について(保健室)	本校は転・入学が増加し、児童生徒の実態の幅がますます大きくなった。そのため、一人ひとりが様々な固有の課題を抱え、指導上の配慮も複雑・多様化してきている。また、昨年度「今後の特別支援教育の在り方について」の最終報告が出され、教師の専門性や教育力の向上、個別教育支援計画の作成や関係諸機関と連携が求められている。本校の現状や特別支援教育の新たな流れを踏まえて、各学部等において、教育課程編成上の課題を理論的・実践的に検討し、教育実践の改善・充実をはかっていく。	
県立	甲府養護	一人一人の自立に向けた教育支援の在り方～個別の教育支援計画作成に向けて(2年次)		2年次の研究として、個別の教育支援計画作成に向けてより充実した指導を目指し、研究・研修、保健、給食、教務の4つの分掌に分かれて研究を行う。研究・研修では昨年度課題となった「評価の在り方」ということに焦点をあてて研究を進めていく。「概念形成、国語・算数」の評価に絞って共通確認できるようにする。保健は「医療的ケア」について、給食は「摂食指導」について、教務は「個別の教育支援計画の作成」に向けてそれぞれ取り組んでいく。	医療的ケア支援体制モデル校実践的調査研究事業(平成14年度～16年度)

都市	学校名	研究主題	研究副主題	研究内容	研究指定
県立	かえで養護	一人一人を活かす授業作りをめざして		開校から4年目を迎え、基本的な教育課程の枠組みが整理された。児生の実態の多様化も踏まえより充実した教育実践を行うために、授業作り一つの視点をあてる。今ある授業を様々な観点から評価し見直すとともに、個別の指導計画を活用しながら一人一人を活かす効果的な授業実践のあり方を探る。また、教育課程の中の授業の位置づけ、ねらい、他教科との関連性や系統性も合わせて考えることで、より良い教育課程の改善へとつなげる。具体的には、学部毎進める。小学部「未定」中学部「自立活動」高等部「進路学習」について研究を進める。	